

第2次香南市人権教育・啓発推進  
実施計画書

令和8年度（2026年度）版

香南市

同和問題				
推進方策	個表番号	具体的な取り組み	担当課	ページ
1 同和問題に関する適切な教育の推進	1	就学前・学校教育において、子どもや保護者などに対し、同和問題の現状を理解し人権尊重の精神を醸成するための効果的な機会を計画的に設定します。	学校教育課	9
	2	社会教育における教育・啓発活動や各種団体、諸学級での同和問題研修を行います。	生涯学習課	
2 同和問題解決に向けた広報・啓発活動の推進と体制づくり	3	「部落差別をなくする運動」強調旬間事業や人権啓発フェスティバル、講演会、人権啓発漫画パネル展示などの実施と、市広報誌に「じんけん通信」を掲載し、同和問題に対する正しい理解や人権意識を持ってもらえるよう、情報発信や啓発を推進します。	人権課	10
	4		生涯学習課	
	5	企業や団体などと連携し、企業や団体などを対象に人権意識の向上のための啓発活動を推進します。	商工観光課	11
	6		人権課	
	7	香南市人材育成方針に基づき、市職員の人権意識の向上を目的にした研修などを実施します。	人権課	12
	8		こども課	
	9	人権侵害などにおいて、被害者の救済や加害者の意識改革を目的にした相談体制を充実させ、差別事象の解決に向けて迅速に対応します。 また、市民館等で市民の生活・就労などの相談業務を行い、生活の安定に向けた支援と課題解決に向けた取組を行います。	人権課	13
	10	法務局や県と連携し、インターネット上での同和問題を理由とする差別に対し、削除要請を行うなどの取組を適宜実施します。	人権課	

女性				
推進方策	個表番号	具体的な取り組み	担当課	ページ
1 男女共同参画 や男女平等の意識 づくりと環境づくり	11	政策・方針決定過程への女性の参画を促進させ、管理職や審議会委員などへの女性の積極的登用に努めます。	人権課	14
	12	男女共同参画社会の実現をめざし、市民の意識改革や相互理解、女性が男性と平等に尊重されるために、社会制度や慣習の見直しや改善に向けて啓発活動を推進します。	人権課	15
	13	男女雇用機会均等の普及に向けて、企業などと連携し男女共同参画に関する研修や女性の雇用機会の改善を図るとともに、育児休暇などを取得しやすい職場環境づくりを行います。	商工観光課	
	14		総務課	
	15	学校等や社会教育の場において、男女平等に関する理解や男女の相互理解の醸成、お互いを尊重し協力し合う意識の向上を図ります。	学校教育課	16
	16		生涯学習課	
2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援	17	DVやセクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントなど、女性への暴力を防止するための情報発信・啓発を行います。	人権課	17
	18	県や関係機関と連携し、暴力等に関する相談しやすい環境づくりや支援体制の充実を図ります。	人権課	
3 仕事と家庭生活の調和のための子育て・介護支援	19	こどもの健全育成を図るために、保育所などを充実させ、子育てをしやすい環境づくりとともに放課後や長期休暇などの児童の居場所づくりを推進します。	こども課	18
	20		人権課	
	21	ひとり親家庭などの福祉対策の充実を図ります。	福祉事務所	19
	22		市民保険課	
	23	妊娠中や子育て中の女性が健康な生活を営むことができるように、妊婦健康診査や健康相談、子育て支援事業を実施します。	健康対策課	20
	24		こども課	
	25	介護サービスや福祉サービスなど支援の充実を図ります。	高齢者介護課	21
	26		福祉事務所	

こども				
推進方策	個表番号	具体的な取り組み	担当課	ページ
1 人権教育やこどものキャリア教育の推進	27	こどもたちの「生きる力」を育むため、就学前・学校教育活動全体を通して、自らを律しつつ、他者と協調し、人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性を育成します。	学校教育課	22
	28	人権課題について、知的理解にとどまらず、こどもたちの行動にまでつながっていくよう中学校区で連携し、人権教育を推進します。 また、家庭でも人権課題について考える機会を提供します。	学校教育課	
	29	人権教育の園内・校内研修の充実を図るとともに、人権を尊重した保育所、認定こども園、幼稚園、学校づくりに努めます。	学校教育課	23
	30	人権教育の園内・校内研修の充実を図るとともに、人権を尊重した保育所、認定こども園、幼稚園、学校づくりに努めます。	こども課	
	31	こどもの実態に応じた教育環境・機会を整え、すべてのこどもが希望や夢を持てるよう、施策の充実を図ります。	学校教育課	24
	32	こどもの学力向上をめざし、基礎学力の向上と定着を図る取組を強化するとともに、キャリア教育における進路指導や進路支援の充実に取り組みます。	学校教育課	25
	33		学校教育課	
	2 子育て支援体制の充実	34	あいさつ運動や「早寝・早起き・朝ごはん」運動などの取組を通じて、地域や家庭と連携して基本的な生活習慣の確立を図ります。	こども課
35		学校教育課		
36		地域での子育て支援事業（共働き家庭の支援を目的とした施策含む）を充実させ、こどもの居場所づくりや親子での交流の場の確保及び情報発信など、子育て世代のつながりの強化に向けて取り組みます。	こども課	27
37			人権課	
38			生涯学習課	
39			福祉事務所	28
40		子育てに関する相談体制を充実させ、家庭の教育力の向上を支援します。	福祉事務所	
41		子育てにおいて必要な正しい情報を発信し、家庭の子育て力を高めるとともに、母子衛生と乳幼児の健康な生活を図ることを目的として、乳幼児健診や育児相談、母子相談などの事業を実施します。	健康対策課	
42		子育てやこどもの健全育成を目的に活動している団体と連携し、子育て支援事業の実施と団体育成に努めます。	生涯学習課	

推進方策	個表番号	具体的な取り組み	担当課	ページ
3 青少年犯罪・非行予防、いじめ防止の推進	43	学校、家庭、地域社会において青少年犯罪や非行の防止に取り組み、青少年の健全育成を行います。	学校教育課	30
	44		生涯学習課	
	45	喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する教育・啓発に取り組みます。	健康対策課	31
	46	学校におけるいじめや体罰、不登校を防止するためにスクールカウンセラーやソーシャルワーカーの配置を推進するとともに、いじめや非行をした児童生徒に対する支援機関の充実と相談窓口の充実にも取り組みます。	学校教育課	
	47		生涯学習課	
4 児童虐待の防止	48	早期発見・早期対応を図っていくため教育・保健・福祉関係機関と十分な連携を行い、虐待を受けた子どもに対するケアやその家族に対する支援の充実を図ります。	福祉事務所	32
	49		福祉事務所	
	50		こども課	
	51		学校教育課	33
	52		人権課	

高齢者				
推進方策	個表番号	具体的な取り組み	担当課	ページ
1 高齢者に対する理解促進と認知症などの正しい知識の普及啓発活動の推進	53	高齢者自身や高齢者を取り巻くさまざまな生活上の問題についての理解と普及啓発を行います。	人権課	34
	54	学校等や社会教育団体などにおいて、高齢者の人権問題に関わる人権教育と啓発を推進します。	学校教育課	
	55		生涯学習課	
	56	認知症に対する理解を深めるために、認知症サポーター養成講座や認知症高齢者を考える会（明日葉会）への支援、認知症声かけ見守り訓練などを行います。	高齢者介護課	35
2 高齢者の地域生活支援と虐待防止対策	57	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、社会福祉協議会や民生委員などと連携し、地域における高齢者の見守り体制を整備します。	高齢者介護課	35
	58		人権課	
	59	高齢者の心身の状況や環境などに応じた介護保険のサービスや医療制度の情報を提供するとともに、相談体制やサービスの充実に取り組みます。	高齢者介護課	36
	60		市民保険課	
61	高齢者への虐待の早期発見や早期対応を実施するために、関係機関と連携し、相談体制を充実させるとともに、高齢者の権利擁護を推進します。	高齢者介護課		
3 雇用・就労の促進と生きがいづくり	62	高齢者の雇用及び就労の機会を確保するために、公益社団法人シルバー人材センターの円滑な運営を推進し、企業などに対しては、定年後も継続して働ける場づくりの啓発を推進します。	高齢者介護課	37
	63		商工観光課	
	64	地域の高齢者が参加する自主活動組織の支援をすることで、高齢者による主体的な取組が実施される地域をめざします。	生涯学習課	38
65	高齢者介護課			
4 いくつになっても暮らしやすい環境整備	66	すべての人が豊かな高齢期を過ごせるよう、市広報誌の編集や各種事業を実施する際などには、ユニバーサルデザインを意識して取り組みます。	総務課	39
	67	高齢者にとって負担が少ない交通手段の充実と施設のバリアフリー化を検討し、高齢者に優しいまちづくりを推進します。	住宅政策課	
	68		契約管財課	
	69		高齢者介護課	40
70	地域支援課			

障害のある人				
推進方策	個表番号	具体的な取り組み	担当課	ページ
1 障害のある人に関する理解を深めるための教育・普及啓発活動の推進	71	学校等において、障害のある人の人権問題に関わる人権教育・啓発を推進します。	こども課	41
	72		学校教育課	
	73	「障害者基本計画」と連携し、積極的に障害のある人の人権に関する地域全体の理解促進や合理的配慮の啓発活動に取り組みます。	福祉事務所	42
	74		人権課	
	75		生涯学習課	
2 障害のある人の地域生活支援と虐待防止対策	76	障害のある人への虐待を防止するために、民生委員・児童委員などとの連携体制を強化し、相談支援体制の充実を図ります。	福祉事務所	43
	77	「障害福祉計画・障害児福祉計画」と連携し、障害者施策の充実と、サービスの情報発信の強化を図ります。	福祉事務所	
3 地域での交流の場づくりと雇用・就労の促進	78	スポーツ、文化、地域活動、ボランティア活動などを通して、障害のある人との交流機会を創出します。	生涯学習課	44
	79		福祉事務所	
	80		商工観光課	
	81	「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、障害のある人の雇用促進及び就労支援を推進します。	総務課	45
	82		福祉事務所	
	83		人権課	
	84	障害のある人の自立支援を促進するために、障害者支援施設などへの支援の充実を図ります	福祉事務所	46
4 障害の有無にかかわらず安心して暮らせる環境の整備	85	市の事業を実施する際には、ユニバーサルデザインやバリアフリー化を進め、誰もが暮らしやすい生活環境を整備します。	生涯学習課	46
	86		地域支援課 香我美支所 夜須支所 赤岡支所 吉川支所	
	87		住宅政策課	
	88		契約管財課	
	89	自主防災組織などと協働して、誰もが安全・安心に暮らすための防災・防犯対策を推進します。	防災対策課	47

感染症患者等				
推進方策	個表番号	具体的な取り組み	担当課	ページ
1 正しい知識の普及啓発と感染予防	90	あらゆる感染症や今後起きてくるさまざまな病気に対する正しい知識を普及させるために、市民への啓発活動の充実を図ります。また、正確な情報の収集・分析及び提供に努めます。	人権課	48
	91		健康対策課	
	92		生涯学習課	
	93	学校教育において、エイズ教育の推進と病気に対する正しい知識の普及を進めるために、性教育のための冊子やリーフレットを用いて啓発を推進します。また、その他の感染症においても感染予防のための広報活動を推進します。	学校教育課	49
	94		健康対策課	
2 感染症などに関わりのある人の暮らしやすい体制づくり	95	感染症患者等の人権について、患者やその家族だけでなく、医療・福祉などの従事者も含めた相談窓口の周知に努め、関係機関と連携し相談者の立場に立った相談・支援に取り組みます。	人権課	
	96		健康対策課	
外国人				
1 国際理解を深める教育・啓発の推進	97	多文化共生社会を促進するために、外国の文化を知り、学ぶための教室やイベントを開催し、国際交流活動を推進します。	生涯学習課	50
	98	学校教育で国際理解を深める教育と啓発を推進するために、外国語指導助手を小中学校へ配置し、国際理解の推進に努めます。	学校教育課	
2 外国人が暮らしやすい環境づくり	99	主な公共施設に多言語表記を行うなど、外国人が住みやすいまちづくりの推進に努めます。	人権課	
	100	「ハイトスピーチ解消法」の施行に伴い、ハイトスピーチ解消に向けた啓発活動を推進します。	人権課	51
インターネット				
1 利用モラルの向上	101	市民のインターネット利用モラル向上のため、市広報誌などを通じた啓発に努めます。	人権課	52
	102	情報モラル教育を推進するため、学校、家庭、地域などの関係者が連携して指導に取り組みます。	学校教育課	
2 差別的表現への迅速な対応	103	差別的表現に対する迅速な対応のため、相談窓口等の周知や職員のモニタリング研修などを行います。	人権課	53
	104	インターネットによる人権侵害を受けた被害者の問題解決や救済に向けて、法務省の人権擁護機関や警察、関係団体等と連携した対応に努めます。	人権課	

災害と人権				
推進方策	個表番号	具体的な取り組み	担当課	ページ
1 災害発生時に向けた支援体制の整備	105	要配慮者や子育て家庭、女性など、さまざまな人々への十分な配慮が求められる課題に対し、性別や年齢などにおいて重視する配慮内容の違いを考慮した対策を検討します。	防災対策課	54
	106	災害時における人権問題に配慮した災害マニュアル等の作成を検討します。	防災対策課	
	107	避難所運営において、避難生活の長期化を見据えたプライバシーの確保を図ります。	防災対策課	55
	108	避難生活中の市民の健康を維持するために、病気の発生防止や予防対策方法を検討します。	防災対策課	
	109	支援を必要としている被災者へ支援物資やボランティアなどの情報が確実に行き届くために、避難所などにおいて情報ネットワークづくりを検討します。	防災対策課	
2 災害時の人権への配慮に関する教育・啓発の推進	110	市民や職員を対象に、災害に関する人権や防災をテーマとした研修会などを実施し、災害時に起こるさまざまな人権問題についての正しい知識と理解を周知します。	防災対策課	55
	111	避難所運営も含め、災害時における人権問題に関する知識の普及と啓発に取り組みます。	防災対策課	
性的指向・性自認（SOGI）				
1 多様な性のあり方への正しい理解の促進	112	市民や市職員等に対し、多様な性のあり方に対する理解を深めるための教育・啓発を行います。	人権課	56
	113	学校教育において、性の多様性に関する理解を進めるための教育・啓発等を行います。また、児童生徒の教育上の配慮として、性は多様なものであるという視点を大切にし、性の多様性を尊重した教育を推進します。	学校教育課	
	114	パートナーシップ宣誓制度の普及促進に向け、市民への周知・広報に加え、制度を活用して利用できる行政サービスの拡充に努めます。	人権課	57
	115		生涯学習課	
2 人権侵害に対する相談・支援体制の確保	116	人権侵害に苦しんでいる方を適切な相談・支援窓口につなげるため、法務局や県、関係機関と連携を図りながら、適切・迅速に相談・支援ができる体制を整えます。	人権課	
その他の人権問題				
1 さまざまな人権問題に関する教育・啓発の推進	117	市広報誌や啓発事業などを通して、人権に対する正しい知識や意識を周知啓発するための機会の充実を図ります。	人権課	58

## ○同和問題

<b>基本目標</b>		1 日本固有の人権問題の解決に向け、更に基本的人権が尊重される社会をめざし、差別意識の解消に努め、すべての市民生活を高める。 2 同和問題の解決を阻害しているあらゆる要因の排除に努める	
<b>推進方策</b>		1 同和問題に関する適切な教育の推進	
<b>具体的な取組内容①</b>		就学前・学校教育において、こどもや保護者などに対し、同和問題の現状を理解し人権尊重の精神を醸成するための効果的な機会を計画的に設定します。	
個表 番号 1	<b>課名</b>	学校教育課	
	<b>前年度事業実績</b>	○同和問題を単なる知識としてではなく学校教育全体で育むため、また、意識して個別の人権課題を取り扱うため、年間指導計画の見直しと教職員研修の実施を行った。 ・全小中学校において、年間指導計画を見直し、年間指導計画の中に同和問題を含む個別の人権課題を明確に位置付けた。 ・教職員の土台作り…人権教育・生徒指導担当者会を2回開催、また、小学校では7校中4校で校内研修を実施し、指導者の共通理解を深めた。中学校では4校中2校において、同和問題を教材とした研究授業を実施し、具体的な指導法の検証を行った。	
		<b>成果</b>	①年間指導計画を再度見直し作業を通して、各教科における人権の視点を再確認し明確化することにつながった。そして、教職員で共通認識を図るとともに、カリキュラムマネジメントの充実につながり、より意識した個別の人権課題（同和問題等）の授業実施を行う体制となった。 ②同和問題について校内研修と授業研究、または授業研究のみを実施した学校が小学校5校（前年度比+1校）、中学校3校（前年度比+2校）となり、実施校が増加した。 ※【県調査】人権教育・生徒指導に関する取組状況調査（令和8年1月）より
		<b>課題</b>	①いじめやSNS対策などの現代的な課題に押され、同和問題の本質（差別を見抜く力）を深く掘り下げた授業時間を十分に確保し続けることが難しくなっている。計画は立てたものの、「具体的にどう教えれば子どもに響くか」という教材研究の深化や、十分な指導時間の確保が課題である。 ②授業実践が増えた一方で、小学校の校内研修実施数は減少傾向にある。「授業はするが、教員の最新知識へのアップデートが追いつかない」懸念がある。また、特定の学校で取組が深化している反面、「取り組む学校とそうでない学校」の二極化が進んでおり、市内全域での底上げが依然として必要である。さらに、ベテランから若手への継承や、同和教育の歴史的背景を体系的に教えるスキルの差が大きく、担当者会の事後アンケートでは「教え方に自信が持てない」という不安が残っていることが明らかになった。今後は、担当者会で学んだ熱量の高い内容を、他の教職員へどう伝え、浸透させるかという「伝達の仕組み」に課題がある。
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止	
<b>本年度計画内容</b>	①の成果・課題をふまえた計画として、実践事例の共有を行い、どの学校でも質の高い授業ができる体制づくりを行う。また、年間指導計画に基づいた取組を行い、PDCAサイクルによって検証・改善を進められるような研修の充実を図る。 ②の成果・課題をふまえた計画として、各校において短時間で活用できるミニ研修資料等の作成・提供を行い、教職員の知識のアップデートを図る。（担当者会・学びのポータルサイト「学びの輪」活用）		
<b>具体的な取組内容②</b>		社会教育における教育・啓発活動や各種団体、諸学級での同和問題研修を行います。	
個表 番号 2	<b>課名</b>	生涯学習課	
	<b>前年度事業実績</b>	・若杉こども会、若竹会の事業の支援を行った。 ・香南市人権教育研究協議会の支援を行うとともに、協議会の研究大会において全国人権教育研究協議会 事務局 杉江範昭先生をお招きし、「わたし、わたしとあなた、わたしと社会～いま、こだわりたい人権教育、こだわりたい教育内容の創造～」と題した同和問題を含めた講演を実施した。	
		<b>成果</b>	若杉こども会、若竹会の活動を通して、人を思いやる心を育て学力を高め、進路を保障し、将来解放の担い手としてたくましく生きていく子どもたちの育成を図ることができた。また、研究大会には264名の市民及び教師、行政職員が参加し、同和教育等について講演いただくことで研修を深めることができた。
		<b>課題</b>	引き続き、多くの方に参加いただけるように講演内容等検討する必要がある。
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止	
<b>本年度計画内容</b>	引き続き、こども会活動や香南市人権教育研究協議会などの団体の育成及び支援を行う。		

推進方策		2 同和問題解決に向けた広報・啓発活動の推進と体制づくり	
具体的取組内容①		「部落差別をなくする運動」強調旬間事業や人権啓発フェスティバル、講演会、人権啓発漫画パネル展示などの実施と、市広報誌に「じんけん通信」を掲載し、同和問題に対する正しい理解や人権意識を持ってもらえるよう、情報発信や啓発を推進します。	
個表 番号 3	課名	人権課	
	前年度事業実績	<p>○部落差別をなくする運動強調旬間事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会 日 時：令和7年7月15日（火） 13：30開場 14：00開演</li> <li>演 題：私たちは「部落差別」にどう向き合っていくか ～一緒に考えるということ～</li> <li>講 師：三木 幸美 氏（公益財団法人とよなか国際交流協会 事業主任）</li> <li>受講者数：126名（一般：37名、職員：89名）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香南ケーブルテレビで強調旬間のテロップ広報と「同和問題」に関する映像の放送を依頼した。</li> </ul> <p>○広報誌掲載「お知らせ」「じんけん通信」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月号：「部落差別をなくする運動」強調旬間事業 人権講演会の告知を行った。</li> <li>・7月号：「部落差別の今…」と題し、同和問題の現状、同和問題に対する若い世代の認識について掲載した。</li> </ul> <p>○香南市人権啓発フェスティバル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権啓発漫画パネル展示</li> </ul>	
	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者アンケートでは、新たな気づき・学び、行動指針に関する記載が多数見られ、「自分事」として捉え直す機会となり、人権意識の底上げと差別解消への機運が高まった。</li> <li>・全国の参加者との議論、報告者による最新の実践事例の共有によって、多様化する人権課題への理解を深めた。</li> </ul>	
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・得た気づきを一過性のものにせず、日常の業務や生活の中でいかに継続・定着させるかが課題である。</li> <li>・人権意識の高揚は見られるものの、依然として参加層が固定化される傾向にあるため、幅広い層を巻き込むための効果的な情報発信、参加しやすい環境の構築が今後の継続的な課題である。</li> </ul>	
	達成度	<p>①:概ね達成できた    B:達成には至らないが取組中    C:未実施</p>	
	本年度計画	<p><input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 拡充    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 廃止</p>	
本年度計画内容	<p>○「部落差別をなくする運動」強調旬間事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会 日時：7月21日（火） 14：00開演</li> <li>・香南ケーブルテレビで強調旬間のテロップ広報と「同和問題」に関する映像の放送を依頼する。</li> </ul> <p>○部落解放研究第59回全国集会への参加</p> <p>○人権啓発フェスティバル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時（予定）：11月21日（土）</li> <li>・人権啓発漫画パネル展示</li> <li>・講演会</li> </ul> <p>○広報誌掲載「じんけん通信」による情報発信・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報6月号：「部落差別をなくする運動」強調旬間事業 人権講演会の告知</li> <li>・広報7月号：同和問題に関する記事の掲載</li> </ul>		
個表 番号 4	課名	生涯学習課	
	前年度事業実績	<p>「人権啓発フェスティバル」において、同和問題解決に向けた人権図書展示・周知を行った。</p>	
	成果	同和問題に対する正しい理解と意識を高めることができた。	
	課題	引き続き、多くの方に参加いただけるように講演内容等検討する必要がある。	
	達成度	<p>①:概ね達成できた    B:達成には至らないが取組中    C:未実施</p>	
本年度計画	<p><input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 拡充    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 廃止</p>		
本年度計画内容	市人教の広報紙「かがやき」や「人権啓発フェスティバル」、人権講演等で啓発活動の充実を図る。		

<b>具体的 取組内容②</b>		企業や団体などと連携し、企業や団体などを対象に人権意識の向上のための啓発活動を推進します。	
個表 番号 5	<b>課名</b>	商工観光課	
	<b>前年度 事業実績</b>	企業訪問時に公正な採用について啓発を行った。	
		<b>成果</b>	公正採用選考の趣旨を説明し、人権問題について理解を深めることができた。
		<b>課題</b>	人権意識を高めるため、より効果的な広報が必要である。
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止	
<b>本年度 計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業訪問時等の機会を通じてチラシ等による啓発を行う。</li> <li>・一方的な取組にならないよう、情報の共有に努める。</li> </ul>		
個表 番号 6	<b>課名</b>	人権課	
	<b>前年度 事業実績</b>	○香南市企業等人権問題連絡協議会における、企人協通信の発行 香南市企業等人権問題連絡協議会の加盟企業（45事業所）に対し、総会や発行物「企人協通信」にて、「部落差別をなくする運動」 強調旬間事業の案内、各種イベントなどの情報提供を行った。	
		<b>成果</b>	同和問題をテーマとした研修会が実施できなかったが、研修会の概要やイベント情報などを提供することができた。
		<b>課題</b>	「情報提供を行った」という事実に対し、実際に各企業の担当者がどのくらい内容を読み込み、社内共有や従業員への2次啓発に繋がったかという「情報の浸透性」が把握できない。
		<b>達成度</b>	A:概ね達成できた ②:達成には至らないが取組中 C:未実施
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止	
<b>本年度 計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加盟企業に対し、従来のイベント案内等に加え、他企業の活動事例の紹介など、今までとは視点を変えた内容を記載し、企業内での主体的な活動を促進する。</li> <li>・研修会後のアンケート等を用いて、「情報提供を行った」という事実に対する活用状況の把握をする。</li> </ul>		

<b>具体的 取組内容③</b>		香南市人材育成方針に基づき、市職員の人権意識の向上を目的とした研修などを実施します。	
個表 番号 7	<b>課名</b>	人権課	
	<b>前年度 事業実績</b>	<p>○香南市人材育成基本方針のもと、人権尊重の視点に立ち誠実に職務を遂行するため、人権教育・啓発推進講座を系統的に全職員に行う。</p> <p>・「部落差別をなくする運動」強調旬間事業 講演会 日 時：令和7年7月15日（火） 13：30開場 14：00開演 演 題：私たちは「部落差別」にどう向き合っていくか ～一緒に考えるということ～ 講 師：三木 幸美 氏（公益財団法人とよなか国際交流協会 事業主任） 受講者数：126名（一般：37名、職員：89名） ※人づくり広域連合の研修に加えて、市主催の同和問題に関する講演会では、職員研修（新規採用職員は悉皆研修）として位置づけを行い、実施した。</p> <p>○部落解放研究第58回全国集会 日 時：令和7年11月10日・11日 会 場：宮崎県宮崎市（シーガイアコンベンションセンター等） 参加者数：5名</p>	
	<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用職員を含む職員研修として実施し、組織内の共通認識の醸成ができた。</li> <li>・全国の参加者との議論、報告者による最新の実践事例の共有によって、多様化する人権課題への理解を深めた。</li> </ul>	
	<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通認識の醸成は図られたものの、各職員の具体的な行動や業務への反映状況については把握が十分でない。</li> <li>・得た気づきを一過性のものにせず、日常の業務や生活の中でいかに継続・定着させる必要がある。</li> </ul>	
	<b>達成度</b>	<p>①:概ね達成できた    B:達成には至らないが取組中    C:未実施</p>	
<b>本年度計画</b>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 拡充    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 廃止</p>		
<b>本年度 計画内容</b>	<p>○香南市人材育成基本方針のもと、人権尊重の視点に立ち誠実に職務を遂行するため、人権教育・啓発推進講座を系統的に全職員に行う。</p> <p>・「部落差別をなくする運動」強調旬間事業 講演会 日時：令和8年7月21日（火）</p> <p>○部落解放研究第59回全国集会 日時：令和8年10月18日（月）10月19日（火） 会場：広島県福山市（リーデンローズ他）</p>		
個表 番号 8	<b>課名</b>	こども課	
	<b>前年度 事業実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤中地区教育懇談会のフィールドワークや地域で開催されるお祭り等へ参加した。</li> <li>・市人権課が実施する部落差別をなくする強調旬間事業や四国地区人権教育夏期講座等に参加した。</li> <li>・四国地区人権教育大会に1名が選出され実践報告を行った。</li> <li>・香南市人権教育研究協議会・研究大会に全園所より実践報告を行い、高知県人権教育研究大会に2名が選出され実践報告を行った。</li> <li>・香南市人権教育研究協議会・集約大会では選出された1名が、研究大会後の取組も含め実践発表を行った。</li> <li>・全国人権・同和教育研究大会に4名参加し、1名が実践報告を行った。</li> <li>・全国人権保育研究集会に3名が参加し、分科会で1名が司会を務めた。</li> <li>・高知県人権保育研究大会に9名が参加し、分科会で1名が司会、1名が記録を行った。</li> <li>・各園所において、職員（会計年度職員含む）を対象にした人権研修を行った。</li> </ul>	
	<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドワークやお祭り等へ参加することにより、地域を知り、地域の歴史や現状を学ぶことができた。</li> <li>・保育実践報告を行い質疑応答や意見をもらうことで、自分を振り返り、人権について考え学ぶと共に自己啓発になった。また、園内で協議を重ね共有することで、園全体の取組となった。</li> </ul>	
	<b>課題</b>	<p>業務との兼ね合いもあり、全職員が研修等へ参加することができないため、できる限り変わり合いながら参加するようにしているが、参加できなかった職員への学習の機会を確保していく必要がある。</p>	
	<b>達成度</b>	<p>①:概ね達成できた    B:達成には至らないが取組中    C:未実施</p>	
<b>本年度計画</b>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 拡充    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 廃止</p>		
<b>本年度 計画内容</b>	<p>引き続き、各機関が開催する研修に参加し、学習内容を職員間で共有する。</p>		

<b>具体的 取組内容④</b>		人権侵害などにおいて、被害者の救済や加害者の意識改革を目的とした相談体制を充実させ、差別事象の解決に向けて迅速に対応します。 また、市民館等で市民の生活・就労などの相談業務を行い、生活の安定に向けた支援と課題解決に向けた取組を行います。	
個表 番号 9	<b>課名</b>	人権課	
	<b>前年度 事業実績</b>	○市民館による相談業務、市民館だよりの掲載 ・赤岡市民館、吉川市民館において、地域住民の生活、教育、就労などの相談業務（生活相談事業）を行い、関係機関との調整を行った。 ・市民館の生活相談については、市民館だよりに掲載を行っている。	
		<b>成果</b>	【相談件数】 ・赤岡市民館：7件中0件 ・吉川市民館：11件中0件 上記の相談件数があったが、同和問題に関する相談はなかった。  【市民館だよりの発行数】 市民館だよりの発行数：6回（各市民館）
		<b>課題</b>	・地域実態を把握するための情報収集や必要に応じて家庭訪問を実施するなど相談支援の充実を図る必要がある。 ・相談支援について、職員の資質向上や民生委員など関係機関との連携を図る必要がある。
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた    B:達成には至らないが取組中    C:未実施
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	
<b>本年度 計画内容</b>	・相談窓口と関係課や関係機関との連携を更に強め、支援体制の充実を図る。 ・生活相談事業の内容を幅広くカバーするため、相談内容の多様化に対応する。 ・就労支援や福祉制度の理解を深め、専門的なサポートを提供できる体制作り。		

<b>具体的 取組内容⑤</b>		法務局や県と連携し、インターネット上での同和問題を理由とする差別に対し、削除要請を行うなどの取組を適宜実施します。	
個表 番号 10	<b>課名</b>	人権課	
	<b>前年度 事業実績</b>	○県のインターネットモニタリング事業との連携 県が実施しているインターネットモニタリング事業と連携して差別的な書き込み等の把握を行い、部落差別を助長する書き込み等が発見された場合には県や法務局と連携して削除要請を行う。  ○「部落差別をなくする運動」強調旬間事業 講演会 日 時：令和7年7月15日（火） 13：30開場 14：00開演 演 題：私たちは「部落差別」にどう向き合っていくか ～一緒に考えるということ～ 講 師：三木 幸美 氏（公益財団法人とよなか国際交流協会 事業主任）	
		<b>成果</b>	・県と連携したモニタリングを通じて、差別的な書き込みが発見されなかったことは、一定の成果があったと考えられる。 ・新規採用職員を含む職員研修として実施し、組織内の共通認識の醸成ができた。
		<b>課題</b>	・差別的な書き込みが確認されなかった一方で、問題が顕著化していない状態が継続する可能性があるため、継続してモニタリングしていく必要がある。 ・共通認識の醸成は図られたものの、各職員の具体的な行動や業務への反映状況については把握が十分でない
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた    B:達成には至らないが取組中    C:未実施
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	
<b>本年度 計画内容</b>	引き続き、県や法務局との連携し、差別的な書き込みが発見された際に、迅速かつ適切な削除要請が行えるよう体制を整える。		

○女性

<b>基本目標</b>	1 女性も男性も等しく一人の人間として、尊重され個性や能力を発揮できる地域づくりをめざす。 2 女性も男性も仕事と家庭（家事・育児・介護）の両立支援に関する取組を推進する 3 女性に対する暴力を根絶するため、さらに取組を推進する
-------------	--

<b>推進方策</b>	1 男女共同参画や男女平等の意識づくりと環境づくり
-------------	---------------------------

<b>具体的取組内容①</b>	政策・方針決定過程への女性の参画を促進させ、管理職や審議会委員などへの女性の積極的登用に努めます。
-----------------	---

個表 番号 11	<b>課名</b>	人権課
	<b>前年度事業実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地方自治法（第180条の5）に基づく委員会などの女性登用に努めた。                      教育委員・・・・・・・・・・・・・・・・ 2/4 50.0%                      選挙管理委員・・・・・・・・・・・・ 3/4 75.0%                      監査委員・・・・・・・・・・・・・・ 1/3 33.3%                      農業委員・・・・・・・・・・・・・・ 2/19 10.5%                      固定資産評価審査委員・・・・・・ 1/4 25.0%</li> <li>・ 地方自治法（第202条の3）に基づく審議会などの女性登用に努めた。                      香南市まち・ひと・しごと                      創生総合戦略策定委員会・・・・・・ 8/15 53.3%                      防災会議・・・・・・・・・・・・・・ 4/40 10.0%                      民生委員推薦会・・・・・・・・・・・・ 3/10 30.0%                      国民健康保険運営協議会・・・・・・ 3/12 25.0%                      介護認定審査会・・・・・・・・・・・・ 11/23 47.8%                      社会教育委員会・・・・・・・・・・・・ 4/15 26.7%                      スポーツ推進審議会・・・・・・・・・・ 1/14 7.1%                      図書館協議会・・・・・・・・・・・・ 7/10 70.0%                      文化財保護審議会・・・・・・・・・・・・ 1/10 10.0%                      都市計画審議会・・・・・・・・・・・・ 1/10 10.0%                      国民保護協議会・・・・・・・・・・・・ 6/30 20.0%                      香南香美地区障害者自立支援審査会・・ 3/7 42.9%                      特別職報酬等審議会・・・・・・・・・・ 0/5 0.0%                      情報公開審査会・・・・・・・・・・・・ 1/5 20.0%                      個人情報保護審査会・・・・・・・・・・ 1/5 20.0%                      地域公共交通会議・・・・・・・・・・・・ 4/20 20.0%                      広報編集委員会・・・・・・・・・・・・ 3/4 75.0%                      土地環境保全審議会・・・・・・・・・・ 2/11 18.2%                      地域包括支援センター運営協議会・・ 9/15 60.3%                      地域密着型サービス運営委員会・・ 9/15 60.3%                      ポートピア土佐運営安全対策委員会・・ 4/20 20.0%                      「ポートピア土佐」環境整備費運用委員会 0/8 0%                      給食センター運営委員会・・・・・・・・ 6/14 42.9%                      補導センター運営委員会・・・・・・・・ 2/12 16.7%                      香南市公民館運営委員会・・・・・・・・ 4/13 30.8%                      生涯学習施設運営審議会・・・・・・・・ 4/15 26.7%                      水道審議会・・・・・・・・・・・・・・ 3/10 30.0%                      下水道審議会・・・・・・・・・・・・・・ 5/10 50.0%                      赤岡市民館運営審議会・・・・・・・・・・ 7/14 50.0%                      吉川市民館運営審議会・・・・・・・・・・ 2/10 20.0%                      大型共同作業場運営審議会・・・・・・・・ 3/9 33.3%                      市営住宅入居者選考委員会・・・・・・ 6/11 54.5%                      子ども・子育て会議・・・・・・・・・・ 11/19 57.9%                      行政改革推進委員会・・・・・・・・・・ 3/11 27.3%</li> <li>・ 人権課が所管する設置要綱に基づく審議会                      人権教育・啓発推進審議会・・・・・・ 8/14 57.1%                      男女共同参画推進審議会・・・・・・ 7/12 58.3%</li> </ul>
	<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標を達成した委員会等の数の推移                      （令和元年・令和4年度）・・・・16委員会                      （令和2・3・5・6年度）・・・・17委員会                      （令和7年度）・・・・・・・・・・・・19委員会</li> <li>・ 地方自治法（第180条の5）に基づく委員会などの女性登用数と割合の推移。                      （令和元・2年度）・・・・6/35 17.1%                      （令和3年度）・・・・・・7/35 20.0%                      （令和4年度）・・・・・・10/35 28.5%                      （令和5・6年度）・・・・9/35 25.7%                      （令和7年度）・・・・・・9/34 26.5%</li> <li>・ 地方自治法（第202条の3）に基づく審議会などの女性登用数と割合の推移。                      （令和元年度）・・・・・・117/419 27.9%                      （令和2年度）・・・・・・120/405 29.6%                      （令和3年度）・・・・・・119/402 29.6%                      （令和4年度）・・・・・・137/469 29.2%                      （令和5年度）・・・・・・141/477 29.6%                      （令和6年度）・・・・・・134/431 31.1%                      （令和7年度）・・・・・・141/452 31.2%</li> </ul> ※人権教育・啓発推進審議会、男女共同参画推進審議会は含まない。
	<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 女性登用の割合は少しずつ増加しているが、非常に緩やかで、目標達成に向けて積極的な取組みが求められる。</li> <li>・ 以前からの課題でもあるが、委員会などを構成する委員が充て職の場合、各団体の代表者が男性であることも多く、女性委員の登用率向上に繋がりにくい。</li> </ul>
	<b>達成度</b>	A:概ね達成できた    B:達成には至らないが取り組み中    C:未実施
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	
<b>本年度計画内容</b>	令和8年度が委員の改選になっている審議会・委員会に対して、女性委員の登用割合が30%になるよう、推進する。	

<b>具体的 取組内容②</b>		男女共同参画社会の実現をめざし、市民の意識改革や相互理解、女性が男性と平等に尊重されるために、社会制度や慣習の見直しや改善に向けて啓発活動を推進します。		
個表 番号 12	<b>課名</b>	人権課		
	<b>前年度 事業実績</b>	○広報誌とホームページへの掲載 ・広報3月号：「みんな知ってる？ 国際女性デー」と題し、国際女性デーの成り立ちや数字で見える現実について掲載した。 ・ホームページ：令和7年度香南市男女共同参画実施計画書を掲載した。		
		○ソール主催 令和7年度DV防止啓発講演会 のいぢられあいセンターにサテライト会場開設 日時：令和7年11月8日（土） 13：30～15：30 演題：それってラブラブ？ ～束縛は愛かそれともDVか～ 講師：山口のり子 氏（一般社団法人アウェア 代表理事） 受講者：15名（一般：12名 職員：3名）		
		<b>成果</b>	・広報誌では、女性管理職の割合や育児休業取得率について、数値データを用いた情報提供により、課題の「見える化」が図れた。 ・ホームページに実施計画書を掲載したことで、施策の透明性向上と市民への周知機会を確保することができた。 ・サテライト会場（ソール）の設置により、会場に行きづらい市民にも参加の機会を提供することができ、専門的かつ実践的な知識の普及が図れた。 ・講演会のアンケートでは、バイアス（無意識の偏見）やDVに対する理解が深まったとの回答が多く見られ、参加者の意識啓発につながった。	
		<b>課題</b>	・広報誌、ホームページともに、閲覧者の年齢層が限定的である可能性がある。 ・講演会において、参加者のほとんどが既に関心のある層に偏っており、いかに新規層に参加してもらえるかといった課題がある。	
<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施			
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
<b>本年度 計画内容</b>	○広報誌とホームページへの掲載 ・広報4月号：「デートDVについて」の記事を掲載し、若年層を中心にDVに関する正しい理解の促進を図る。 ・SNSなど多様な媒体を活用し、幅広い年齢層への情報発信を強化する。 ・掲載内容については、具体的事例や相談窓口の案内を盛り込み、市民の行動変容（相談・気づき）につながる内容とする。			
<b>具体的 取組内容③</b>		男女雇用機会均等の普及に向けて、企業などと連携し男女共同参画に関する研修や女性の雇用機会の改善を図るとともに、育児休暇などを取得しやすい職場環境づくりを行います。		
個表 番号 13	<b>課名</b>	商工観光課		
	<b>前年度 事業実績</b>	企業訪問時に働きやすい職場の環境づくりについて啓発を行った。		
		<b>成果</b>	・職場のトラブル解決につながる無料相談について、広報誌9月号に掲載し市民への周知が図れた。 ・企業経営者に働きかけることで、職場の環境整備改善について、意識を高めることができた。	
		<b>課題</b>	魅力ある職場づくりを進めるため、より効果的な広報・啓発活動が必要である。	
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
<b>本年度 計画内容</b>	雇用、労働改善に繋がるセミナー等について広報誌等で周知を図るとともに、企業訪問時や企業交流会等の機会を通じて情報提供や啓発を行う。			
個表 番号 14	<b>課名</b>	総務課		
	<b>前年度 事業実績</b>	○「令和6年度勤務条件等に関する調査」より 令和6年度育児休業取得職員（新規取得者）・・・男性：10人（66.6%） 女性：8人（100%） 令和6年度出産補助休暇取得職員・・・対象者：15人 取得者：8人		
		<b>成果</b>	男性職員の取得率は66.0%と職員個人の取得意識向上と所属長からの取得勧奨によって取得率向上が図れた。	
		<b>課題</b>	出産に係る休暇及び育児休業制度について、職員への周知が十分とはいえない状況がある。情報発信の機会及び内容の充実を図るとともに、個別の意向確認等を通じて制度の理解促進を図り、男性職員を含めた更なる取得意識向上につなげる必要がある。	
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
<b>本年度 計画内容</b>	男性の2週間以上の休業取得率を80%、出産補助休暇取得率を100%達成できるよう取得促進に努める。			

<b>具体的 取組内容④</b>		学校等や社会教育の場において、男女平等に関する理解や男女の相互理解の醸成、お互いを尊重し協力し合う意識の向上を図ります。		
個表 番号 15	<b>課名</b>	学校教育課		
	<b>前年度 事業実績</b>	学校は時代を担う子どもたちが男女共同参画を推進する意識を育む基盤となる重要な場である。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領に基づき、各教科等において男女が共同して社会に参画することや、男女が協力して家庭を築くことの重要性について指導した。</li> <li>・日常の教員の言動が、子どもの進路選択等に大きく影響する可能性があるとともに、教員は子どもたちの身近な働き方・暮らし方のロールモデルの一つであることを確認する研修を行った。</li> <li>・市内すべての中学校（100%）で校則の見直しが完了または進行中であり、「生徒の参画」を重視した生徒主導の「選べる環境」づくりを推進した。</li> </ul>		
		<b>成果</b>	①市内すべての中学校（100%）で校則の見直し完了または進行中であり、「生徒の参画」を重視して取り組んだ。特に、「生徒の提案が正式に採用される」といった成功体験は、男女平等の精神である「対等な立場での参画」を実体験する貴重な機会となった。性別に関わらず誰もが自分らしく過ごせる物理的な環境が整ってきた。 ②「女性」について校内研修と授業研究、または授業研究のみを実施した学校が小学校7校中4校（前年度比+2校）となり、実施校が増加した。※校内研修を必ず取り組むこととしている個別の人権課題（こども、インターネット上の人権課題）については、全小中学校で実施した。 ※【県調査】人権教育・生徒指導に関する取組状況調査（令和8年1月）より	
		<b>課題</b>	環境は整ったが、周囲の視線や無意識の偏見（アンコンシャス・バイアス）などの心理的な課題が残っていないか、「なぜこの変化が必要か」という本質的な理解をさらに深める機会を、全校生徒・教職員が共有し続ける必要がある。	
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた    B:達成には至らないが取組中    C:未実施	
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度 計画内容</b>	意識の自分事化を最重点に以下の3点を推進する。 ・「自分事」として議論する人権学習： 「なぜこの校則になったのか」「お互いの違いをどう尊重するか」を生徒が主体的に議論し、人権を自分の課題として捉える機会をつくる。 ・教職員の言動改革（ロールモデル化）： 教職員自身が、無意識の性別役割分担意識等に気づき、行動を改善する機会をつくる。 ・制度変更後の実感（制服の選びやすさ等）を生徒会と継続調査をするなど、一度決めて終わりにせず、対話を繰り返すことで、男女平等の意識を学校生活の当たり前（自分事）として定着させるようにする。			
個表 番号 16	<b>課名</b>	生涯学習課		
	<b>前年度 事業実績</b>	中央生活楽級や香南いきいき楽級の学習会で、香南市の人権課題の学習会を開催するよう計画している。		
		<b>成果</b>	香南いきいき楽級で「ビキニ被ばく」についての講演を開催し、その中で被爆者やその家族の人権についても取り上げるとともに、質疑応答時に講師と参加者のやり取りも積極的におこなわれ、学びを深めた。	
		<b>課題</b>	男女相互の理解と協力を深め、個人が個性や能力を發揮でき、生きがいづくりにも寄与できる体制・講座内容を充実させる。	
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた    B:達成には至らないが取組中    C:未実施	
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度 計画内容</b>	理解が深まるように講座内容を充実させ、多くの市民が参加できるよう活動する。			

<b>推進方策</b>		2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援		
<b>具体的取組内容①</b>		DVやセクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントなど、女性への暴力を防止するための情報発信・啓発を行います。		
個表 番号 17	<b>課名</b>	人権課		
	<b>前年度事業実績</b>	<p>○啓発物の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所のトイレに「DV相談ナビ」やDV加害者側の相談窓口を記載したミニパンフレットを設置した。</li> <li>・通年、DV防止に関する啓発ポスターの設置</li> </ul> <p>○ソーレ主催 令和7年度DV防止啓発講演会 のいちふれあいセンターにサテライト会場開設</p> <p>日時：令和7年11月8日（土）</p> <p>演題：それってラブラブ？ ～束縛は愛かそれともDVか～</p> <p>講師：山口のり子 氏（一般社団法人アウェア 代表理事）</p> <p>受講者：15名（一般：12名 職員：3名）</p>		
		<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所のトイレという人目を気にせず情報に触れられる場所に設置したことで、DV被害者が安心して相談窓口の情報を得られる環境を整備することができた。</li> <li>・サテライト会場（ソーレ）の設置により、会場に行きづらい市民にも参加の機会を提供することができ、専門的かつ実践的な知識の普及が図れた。</li> <li>・講演会のアンケートでは、バイアス（無意識の偏見）やDVに対する理解が深まったとの回答が多く見られ、参加者の意識啓発につながった。</li> </ul>	
		<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発物の設置による情報発信・啓発は常時行われているが、その効果（相談件数の増減など）が見えにくい。</li> <li>・サテライト会場（ソーレ）にしているものの、参加者のほとんどが既に関心のある層に偏っている。また、参加者数が限定的である。</li> </ul>	
		<b>達成度</b>	<input checked="" type="checkbox"/> A:概ね達成できた <input type="checkbox"/> B:達成には至らないが取組中 <input type="checkbox"/> C:未実施	
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止			
<b>本年度計画内容</b>	<p>○啓発物の設置</p> <p>前年度に引き続き、市役所や支所のトイレ等に啓発物を設置し、情報発信・啓発を常時行う。</p> <p>○広報誌とホームページへの掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報4月号：「デートDVについて」の記事を掲載し、若年層を中心にDVに関する正しい理解の促進を図る。</li> <li>・SNSなど多様な媒体を活用し、幅広い年齢層への情報発信を強化する。</li> <li>・掲載内容については、具体的事例や相談窓口の案内を盛り込み、市民の行動変容（相談・気づき）につながる内容とする。</li> </ul>			

<b>具体的取組内容②</b>		県や関係機関と連携し、暴力等に関する相談しやすい環境づくりや支援体制の充実を図ります。		
個表 番号 18	<b>課名</b>	人権課		
	<b>前年度事業実績</b>	<p>○人権擁護委員による人権相談の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁、各支所で年間の人権相談予定表を配布し、広報誌のカレンダーにはその月の人権相談日を掲載した。</li> <li>・人権相談日の前日と当日に合わせて、防災無線での案内を該当する地区ごとに行った。</li> </ul> <p>○啓発冊子の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立城山高等学校の1年生と教員に啓発冊子「それってラブラブ…？」の提供を行った。</li> </ul>		
		<b>成果</b>	人権相談において、広報誌や地区ごとの防災無線でのお知らせにより、地域への認知定着を図った。	
		<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周知による、効果（相談件数の増減など）が見えずらいため、どのくらい効果があったのかが分からない。</li> <li>・相談支援の充実のため、職員の研修への参加、関係課や関係団体との連携を図る必要がある。</li> </ul>	
		<b>達成度</b>	<input checked="" type="checkbox"/> A:概ね達成できた <input type="checkbox"/> B:達成には至らないが取組中 <input type="checkbox"/> C:未実施	
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止			
<b>本年度計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせて、DV防止に関する記事や講演会について広報誌またはホームページへ掲載する。また、香南市役所本庁舎にてパープルライトアップを実施する。</li> <li>・高知県やソーレが主催する研修を職員用パソコンの掲示板に掲示し、職員のスキルアップを図る。</li> <li>・広報4月号：「デートDVについて」の記事と相談窓口先を掲載し、若年層を中心にDVに関する正しい理解の促進を図る。</li> </ul>			

<b>推進方策</b>		3 仕事と家庭生活の調和のための子育て・介護支援	
<b>具体的取組内容①</b>		こどもの健全育成を図るために、保育所などを充実させ、子育てをしやすい環境づくりとともに放課後や長期休暇などの児童の居場所づくりを推進します。	
個表 番号 19	<b>課名</b>	こども課	
	<b>前年度事業実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時預かり保育を2か所（香我美おれんじ保育所、夜須こども園）で実施した。</li> <li>・預かり保育を公立幼稚園とこども園で実施した。</li> <li>・土曜日の預かり保育を公立幼稚園全園で実施した。</li> <li>・野市東保育所と野市東幼稚園を統合して「野市東こども園」を開園し、乳児の受け入れ枠を拡大した。また、早朝の受け入れ時間を30分早めて午前7時から行った。</li> <li>・使用済み紙おむつの処分を保育所、幼稚園、こども園で実施した。</li> <li>・幼稚園の長期休業期間におけるお弁当の配食サービスを行った。</li> <li>・放課後児童クラブを12か所（野市小：4か所、佐古小：2か所、野市東小：2か所、赤岡小：1か所、香我美小：2か所、夜須小：1か所）で実施した。</li> <li>・放課後子ども教室を2か所（野市小学校、吉川小学校）で実施した。</li> <li>・総合子育て支援センター「にこなん」では、親子のひろばを平日は午前9時～午後4時まで、土曜日は午前9時～11時30分まで開設した。また、病後児保育事業を午前7時30分～午後4時30分まで実施した。</li> </ul>	
	<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後、保護者が就労等により家庭にいない小学生に対し、適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の仕事と家庭の両立支援に寄与することができた。</li> <li>・就学前の児童を持つ保護者に対し支援を行うことで、子育ての負担感を軽減することができた。</li> </ul>	
	<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育事業を継続していくためには、保育士確保に努め、受入体制を整備していく必要がある。</li> <li>・利用希望者全員を受け入れることができなかった児童クラブがある。</li> <li>・児童クラブ支援員には、多様化する保育ニーズに対応できる資質が求められている。</li> </ul>	
	<b>達成度</b>	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時預かり保育を香我美おれんじ保育所と夜須こども園の2か所で実施する。</li> <li>・令和8年4月から夜須こども園で、保護者の就労状況や理由に関わらず、時間単位で保育を利用できる「こども誰でも通園」を実施し、保育士や同年代のこどもと関わることで、こどもの健やかな育ちを応援する。</li> <li>・R8年度より夜須は一と児童くらぶの運営主体が、保護者会から市へ変更となる。</li> <li>・市の行政改革の取り組みにおける事務事業の見直しの中で重要な行政課題の一つとして「放課後児童クラブの運営について」があげられていることから、歳入を増やす取り組み（補助金の最大限活用、保護者負担金の見直し）、歳出を削減する取り組み（こども課と支援員業務全般の見直し、支援員の配置基準の見直し）を行い、持続可能な運営のあり方を検討する。</li> <li>・児童クラブ支援員確保に向けて、市のHPや広報誌、香南ケーブルテレビなどでの広報のみでなく、地域情報誌などの有料広告も活用し、人材確保につなげる。</li> <li>・児童クラブ支援員の資質向上を図るため、県主催研修等への積極的な研修参加を促す。</li> <li>・放課後子ども教室を2か所（野市小学校、吉川小学校）で実施する。</li> </ul>		
個表 番号 20	<b>課名</b>	人権課	
	<b>前年度事業実績</b>	<p>○児童館事業 赤岡市民館及び吉川市民館において、放課後や長期休暇中の児童の居場所として、遊びや仲間づくりを主な目的として児童館事業を実施した。</p>	
	<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの居場所、仲間づくりの拠点の一つとしての活動ができた。</li> <li>・児童館内での遊びを通じて、創造力や協調性を育むことができた。</li> <li>・グループでの活動や集団遊びを通じて、友達作りが促進され、社会性が向上した。</li> </ul>	
	<b>課題</b>	安全で安心な子どもの居場所として保護者に周知する。また、夏休み教室などの行事を充実させていく必要がある。	
	<b>達成度</b>	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画に沿った事業運営を行い、児童の健全育成を図るとともに保護者が安心して利用できる児童館を目指す。</li> <li>・児童館だよりで活動内容等を発信し、保護者が安心して働くことができるような取組を進める。</li> </ul>		

<b>具体的取組内容②</b>		ひとり親家庭などの福祉対策の充実を図ります。	
個表 番号 21	<b>課名</b>	福祉事務所	
	<b>前年度事業実績</b>	自立支援教育訓練給付事業(申請：1件)、高等職業訓練促進給付事業(相談：1件、給付：1件)、母子父子寡婦福祉資金貸付事業(相談：3件)	
		<b>成果</b>	市広報やホームページで事業等の案内や相談窓口等の啓発を行い、電話や来所での事前の相談で制度の説明や生活の聞き取りなども行い、経済的負担や不安の軽減を図っている。必要に応じて他制度紹介や相談機関への繋ぎをしている。
		<b>課題</b>	制度の周知を行うとともに、他の子育て支援関係部署と連携を図り必要な支援につなげる。
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度計画内容</b>	広報誌やホームページなどを活用して制度の周知を図る。		
個表 番号 22	<b>課名</b>	市民保険課	
	<b>前年度事業実績</b>	・児童扶養手当の支給(受給者255人) ・ひとり親家庭などに向けた医療費助成を実施(受給者502人)	
		<b>成果</b>	児童扶養手当やひとり親家庭医療制度を離婚届提出時に個別に制度説明を行い申請の遅れを防ぎ、手当の支給及び医療費を助成することによって、ひとり親世帯の生活の安定と福祉の向上につなげることができた。
		<b>課題</b>	離婚後の世帯状況や所得によって対象とならない場合があるが、状況が変われば受給要件を満たす場合があるため、更新時期に広報など制度の案内を継続して行う必要がある。また、窓口での相談に応じ、必要な支援の窓口につなげられるよう、ひとり親家庭等に関する制度についての知識を習得し関係各課との連携を密にする必要がある。
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度計画内容</b>	ひとり親家庭を対象とした制度を広く知っていただくため、広報誌やホームページ、更新時期に制度の案内を行う。		
<b>具体的取組内容③</b>		妊娠中や子育て中の女性が健康な生活を営むことができるように、妊婦健康診査や健康相談、子育て支援事業を実施します。	
個表 番号 23	<b>課名</b>	健康対策課	
	<b>前年度事業実績</b>	○妊産婦健康診査及び乳児健康診査の受診券交付・必要性の説明・勧奨 ・妊婦一般健康診査受診票(妊婦14枚) 令和7年2月～令和8年1月 延2,172件 ・産婦健康診査受診票(産婦2枚) 令和7年2月～令和8年1月 延369件 ・乳児一般健康診査受診票(乳児2枚) 令和7年2月～令和8年1月 延265件 ○地区担当保健師によるこんにちは赤ちゃん訪問事業を実施。 ○母親の心身のケアと育児の支援を目的に、助産師による産後ケア事業を実施。 ・訪問型：利用実人数44人(延52人) ・通所型：利用実人数36人(延82回) ・宿泊型：利用実人数26人(延56泊) ○栄養士・助産師による相談を総合子育て支援センター「にこなん」にて実施。 ○妊娠中や子育て中の支援充実のため、産前産後ヘルパー派遣事業を開始。 ・利用者数3人、利用延べ回数23回	
		<b>成果</b>	・母子健康手帳の交付時に全数面接を行い、妊娠期から出産後のこどもの健康診査を受診していただけるように周知することで、全数受診ができています。 ・出産後は赤ちゃん訪問を全数行い、母子の心身の様子を確認し、必要な支援につなぎ産後ケア事業等サービスの利用者増加につながった。
		<b>課題</b>	産後ケア事業がユニバーサルサービスに位置付けられたため、赤ちゃん訪問時を利用し全員に事業の啓発を行っている。利用拡大に伴い、必要時利用しやすい体制作りが必要。
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度計画内容</b>	全ての対象者に啓発を行い、必要な方が利用できるよう産後ケア事業の委託を拡大していく。		

課名		こども課
個表 番号 24	前年度 事業実績	<p>【地域子育て支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年3月末日現在の実施状況</li> </ul> <p>○香南市総合子育て支援センター「にこなん」（平日9時～16時、土曜日9時～11時30分） ひろば実施日数：290日 参加保護者数：7,343人 参加児童数：7,843人 相談件数：344件 講習（育児学級）などの実施日数：43回 1,841人参加</p> <p>○出張ひろば（月曜日：野市東、火曜日：香我美、木曜日：夜須、いずれも9時～12時開設）</p> <p>①夜須こども園子育て支援センター（すくすくひろば） 実施日数：41日 参加保護者数：111人 参加児童数：120人</p> <p>②香我美おれんじ保育所子育て支援センター（あのねひろば） 実施日数：43日 参加保護者数：83人 参加児童数：90人</p> <p>③野市東こども園子育て支援センター（おひさまひろば） 実施日数：36日 参加保護者数：135人 参加児童数：156人</p> <p>【ファミリーサポートセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香南市社会福祉協議会にファミリーサポートセンター事業を委託し実施した。</li> <li>活動回数：223回</li> <li>（おねがい会員113人、まかせて会員42人）</li> </ul>
	成果	<p>【地域子育て支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点となる香南市総合子育て支援センターの周知・利用が進んだことにより、相談などを含め総合的な子育て支援につながった。令和8年3月末日現在の総利用者 15,186人（R6：13,511人、前年度比：1,675人増）</li> <li>・週に1度保健師が駐在することにより相談件数（R6：145件、前年度比：199件増）が増えた。</li> </ul> <p>【ファミリーサポートセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して子育てができる住民同士の相互援助活動への理解を進め、会員募集などを行った。</li> <li>・市内2カ所（吉川町、香我美町）のまちづくり協議会及びまちづくり評議会にて事業周知を行った。</li> <li>・令和8年2月に総合子育て支援センター「にこなん」において安全講習を開催し、会員相互の交流を図った。</li> </ul>
	課題	<p>【地域子育て支援センター】</p> <p>○相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援を必要とする家庭で、香南市総合子育て支援センターの利用につながっていない親子へのアプローチをしていく。</li> <li>・利用者からの子育ての相談に応じ、実情の把握に努め、相談内容や利用者等の状況などに応じて情報提供や助言、支援につなげる。また、内容に応じて保健師や保育所と情報を共有し、共に支援を行っていく。</li> <li>・こども家庭センターに、迅速かつ適切に情報共有・連携を行い、必要な支援につなげられるようにする。</li> </ul> <p>【ファミリーサポートセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌等により事業周知を行っているが、新規のおねがい会員数に比べ、まかせて会員数が伸び悩んでいる。</li> <li>・マッチングに苦慮するケースや会員登録はしているものの活動に至らない会員も多い。</li> </ul>
	達成度	<p>①:概ね達成できた    B:達成には至らないが取組中    C:未実施</p>
本年度計画	<p><input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 拡充    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 廃止</p>	
本年度 計画内容	<p>【地域子育て支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子のひろばの土曜日開設（9時～11時30分）を毎週実施する。</li> <li>・毎月第3金曜日の午後及び保育所における家庭保育協力日に合わせて「にこなんであそぼう！」と題して、利用対象者を未就園児に限定せず、市内市外問わず就園児の利用拡大を行う。</li> <li>・出張ひろばを香我美おれんじ保育所、夜須こども園、野市東こども園で行う。</li> </ul> <p>【ファミリーサポートセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会と協働し、地域のまちづくり協議会等で事業の周知を行い、まかせて会員の確保に努める。</li> </ul>	

具体的 取組内容④		介護サービスや福祉サービスなど支援の充実を図ります。		
個表 番号 25	課名	高齢者介護課		
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民税非課税の要支援・要介護認定者で、独力での通院が困難な方に対して、在宅生活の支援及び支援者の負担軽減を目的に、通院時のタクシー代等の助成を行っている。</li> <li>・要介護3～5の認定を受けている市民税非課税世帯の高齢者を月に15日以上在宅で介護している市民税非課税世帯の介護者に対して、在宅介護手当を支給している。</li> </ul>		
		成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関送迎サービス事業：R7年度末利用者数（登録者）167人　うちR7年度新規38人</li> <li>・在宅介護手当：令和7年度末利用者数　42人</li> </ul>	
		課題	医療機関送迎サービス事業については、対象となるか判断が難しいケースがある。	
		達成度	④:概ね達成できた　B:達成には至らないが取組中　C:未実施	
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続　・ <input type="checkbox"/> 統合　・ <input type="checkbox"/> 拡充　・ <input type="checkbox"/> 縮小　・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度 計画内容	判断基準の明確化を図る。また、介護保険事業計画に合わせて事業の見直しを行う。			
個表 番号 26	課名	福祉事務所		
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者自立支援給付・障害児通所支援サービスを円滑に利用できるよう相談支援を行った。</li> <li>・地域の実情に応じた地域生活支援事業の提供を行った。</li> <li>・障害者自立支援協議会の相談支援部会において地域における相談支援体制の充実を図った。</li> </ul>		
		成果	障害者自立支援給付及び障害児通所支援サービスについて地域の支援機関と連携し、障害福祉サービスの円滑な利用につながった。	
		課題	発達障害や知的障害のある方の就労に関する相談が増加しており、新たな受け皿や支援体制について検討が必要。	
		達成度	④:概ね達成できた　B:達成には至らないが取り組み中　C:未実施	
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続　・ <input type="checkbox"/> 統合　・ <input type="checkbox"/> 拡充　・ <input type="checkbox"/> 縮小　・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度 計画内容	障害者自立支援給付・障害児通所支援サービスを適切に提供できる体制を継続するために地域における課題等について障害者自立支援協議会等で検討していく。			

<b>基本目標</b>	1 子育て支援の充実を図るとともに、家庭の教育力の向上を支援する 2 こども一人ひとりの進路を保障するために、キャリア教育の充実を図る 3 こどもの人権を尊重するため、青少年犯罪・非行等への対応・予防やいじめ防止を図る 4 児童虐待を根絶するため、さらに取組を強化する
-------------	---

<b>推進方策</b>	1 人権教育やこどものキャリア教育の推進
-------------	----------------------

<b>具体的取組内容①</b>	こどもたちの「生きる力」を育むため、就学前・学校教育活動全体を通して、自らを律しつつ、他者と協調し、人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性を育成します。
-----------------	---

個表番号 27	<b>課名</b>	学校教育課	
	<b>前年度事業実績</b>	保幼小中連携を基軸として、幼児期の道徳性の芽生え、また、小中学校における子どもの具体的な姿を共有し、中学校区のめざす子ども像を共有し、価値づけを行いながら取組を行っている。学校においては、キャリア教育、道徳教育等において、発達の段階を踏まえた系統的な指導を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>心の育成…道徳教育の充実による「自分事」として考える力の醸成。</li> <li>キャリア教育の推進…「キャリア・パスポート」や副読本の活用、職場体験を通じた社会的自立への支援。</li> <li>組織的な支援…全小中学校で「褒める指導」や校内研修を実施し、チーム学校として児童生徒を支援。</li> </ul>	
	<b>成果</b>	○道徳意識調査より（毎年市内全小中学校で2回実施・肯定的評価） <ul style="list-style-type: none"> <li>道徳的实践「授業で自分の生き方を深く考えている」 小学校：91.9%・中学校92.8%（令和6年度小学校91.5%・中学校91.4%）</li> <li>社会性「困っている人を助けている・役に立ちたい」 小学校：89.6%・中学校91.3%（令和6年度小学校89.3%・中学校90.3%）</li> <li>規範意識「学校のきまりを守っている」 小学校：93.9%・中学校95.6%（令和6年度小学校94.3%・中学校97.1%）</li> <li>地域愛「自分の住んでいる地域が好きだ」 小学校：96.2%・中学校76.8%（令和6年度小学校95.7%・中学校72.3%）</li> </ul> ○【県調査】令和7年度道徳教育・キャリア教育・チーム学校等に関する調査より <ul style="list-style-type: none"> <li>指導体制「キャリア教育の実施・教員研修の実施」小中学校ともに100%</li> </ul>	
	<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校では96%を超える地域愛が、中学校では76.8%まで低下している。（年々その差は少なくなっている。）「人の役に立ちたい」という意識も中学校で80.3%と、小学校に比べやや低いので、思春期特有の心理的变化に加え、学校外（地域）での実践機会が不足している可能性がある。</li> <li>指導やツールの活用率は100%を達成したが、児童生徒がそれをどう「自分の生き方」に昇華させているかの質的な把握が必要である。「書くだけ（活用するだけ）」のキャリア・パスポートになっていないか、振り返りの質を向上させる必要がある。</li> </ul>	
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた    B:達成には至らないが取組中    C:未実施	
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中一貫した地域参画の促進…中学校での地域愛を再燃させるため、地域の課題を解決する「探究型学習」をさらに充実させるなど、地域社会の一員としての自覚（自己有用感）を高める活動を推進する。</li> <li>キャリア・パスポートの活用的高度化…100%の実施率を基盤とし、教師が対話を通じて児童生徒の記述を深める「伴走型支援」を強化する。評価・フィードバックの良い事例を共有し、質の向上を図る。</li> <li>「褒める文化」の定着と発信…全校で実施している「良い点を見つけ評価する取組」を、保護者や地域にも共有し、こどもを多角的に承認する「地域ぐるみの教育コミュニティ」の活性化を図る。</li> </ul>		

<b>具体的取組内容②</b>	人権課題について、知的理解にとどまらず、こどもたちの行動にまでつながっていくよう中学校区で連携し、人権教育を推進します。また、家庭でも人権課題について考える機会を提供します。
-----------------	---

個表番号 28	<b>課名</b>	学校教育課	
	<b>前年度事業実績</b>	「愛あふれ 明日を拓く 香南っ子」をめざすこどもの姿とし、15年間の連続性を重視した取組を展開した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>中学校区における「育ちのバトン」の共有…一貫した支援体制（のりしろ期の取組充実）のもと、園・小・中の教職員が互いの現場を訪問したり、引継ぎ資料等を活用し、子どもの特性や人権上の配慮事項を切れ目なく共有し取組につなげた。</li> <li>家庭・地域との「絆」を深める啓発活動…人権参観日やPTA親子講演会等を通じ、学校での学びを家庭へ還元した。また、学校日より等で人権の視点で子どもの言動を価値づけ発信するなど、啓発を行った。</li> <li>地域参画による自己有用感の育成…「絵金祭り」での屏風絵解説（中学生）や、地域住民との花植え交流（園・小）など、地域社会の中で「誰かの役に立っている」と実感できる機会を大切に取組を行った。</li> </ul>	
	<b>成果</b>	全小中学校で実施している魅力意識調査において、「みんなで何かをするのは楽しい」という肯定回答が市全体で94.5%という高い数値を維持した。これは、15年間の連携による「居場所づくり」が、困難を乗り越えるレジリエンスとして機能している成果ではないかと捉えている。	
	<b>課題</b>	「仲間づくり」等の普遍的な視点での連携は強固になったが、一方で、教職員間での同和教育等の歴史的背景に関する知識や指導力に格差がある。このため、個別の人権課題（同和問題等）に特化したカリキュラムを、中学校区でシームレスに繋ぐまでには至っておらず、指導の連続性を確保する必要がある。	
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた    B:達成には至らないが取組中    C:未実施	
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度計画内容</b>	実務支援の充実と組織的展開…校内で伝達・実践しやすい資料の提供と共有を行い、指導力の底上げを図る。また、既存組織を活用し、日常的に人権について語り合える仕組みを提案・構築する。		

<b>具体的 取組内容③</b>		人権教育の園内・校内研修の充実を図るとともに、人権を尊重した保育所、認定こども園、幼稚園、学校づくりに努めます。		
個表 番号 29	<b>課名</b>	学校教育課		
	<b>前年度 事業実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保幼小中連携した「魅力ある園・学校づくり」を行い、人権教育を基盤とした取組を推進している。合同研修や、異なる校種の研修であっても参加し合える研修機会の充実を図っている。</li> <li>・個別の人権課題に関する校内研修及び授業研究を年間計画に位置付け、実施している。（小中学校）</li> <li>・人権教育目標を達成するために、人権教育主任を中心に人権教育推進アクションシートを作成し、PDCAサイクルを回しながら人権教育を推進している。</li> </ul>		
		<b>成果</b>	※令和8年1月実施「人権教育・生徒指導に関する取組状況調査」より 「個別の人権課題に関する校内研修及び授業研究を年間計画に位置付け、実施している」100% 「子ども的人権（虐待・不登校・貧困等）」「いじめの問題について」実施率100% 「インターネットによる人権侵害について」実施率 小学校71.4%・中学校100% ※令和8年1月30日付 7文科発第2109号「SNS上における暴力行為等の動画の投稿・拡散を受けた緊急の対応等について（通知）」を受け、情報モラル教育を改めて全小中学校で実施。	
		<b>課題</b>	○個別課題の多様性の確保…「ハンセン病」「拉致問題」「アイヌの人々」などの課題については、教員研修・授業研究ともに実施率が低い、あるいは一部の学校に偏っている傾向がある。 ○活用資料の偏り…「情報モラル教育実践ハンドブック」や「人権教育指導資料（Let's feel じんけん）」などの活用状況に学校差があり好事例の共有（どの資料がどの授業で有効だったか）が不十分である。	
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
<b>本年度 計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践のハードルを下げるための取組…国や県の啓発資料や各校の人権教育推進アクションシート等から、発達段階に応じた好事例の共有を行う。（香南市学びの輪ポータルサイト掲載など）</li> <li>・外部機関が作成した既存資料について、「どの学年の、どの教科（道徳、社会、学活等）の、どの単元で活用しやすいか」を可視化した一覧表を作成・配布する等の取組により、より質の高い人権学習を行える伴走支援を行う。</li> </ul>			
個表 番号 30	<b>課名</b>	こども課		
	<b>前年度 事業実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修等に人権に関する研修を取り入れたり、園評価に子どもへの接し方や人権に関する項目を取り入れた。</li> <li>・生命の尊さや優しさと思いやりの心を育むことを目的に、人権の花植えや菜園活動、生き物の飼育を実施した。</li> <li>・絵本やDVDなどの教材を用いて、日本の歴史や行事について知り、考える機会を持ち、取り組む中で、子どもたちの人権意識を高めていく。</li> <li>・人と関わる心地よさを感じたり、相手の思いを知り自分の思いに折り合いをつけたりするなど、日々の保育実践の中で人との関わり方を身につけていく。</li> </ul>		
		<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修を通して、同和問題の歴史や一人一人を大切にすることを改めて考える機会となった。積極的な参加の中で保育者自身が人権意識を磨き、日々の保育を通して子どもや職員間において、人権を尊重した関係作りが出来つつある。また、園評価に項目を取り入れることで、自分自身の言葉・態度・保育などを振り返るきっかけとなった。</li> <li>・自然や生命との触れ合いを通して、協力して育てることや他者への思いやりの心を育むことができた。</li> </ul>	
		<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会に参加しやすい体制を整える必要がある。</li> <li>・人権意識をさらに高め、関係機関と連携・協力し職員の資質の向上を図る必要がある。</li> </ul>	
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
<b>本年度 計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して人権研修を行い職員の資質向上を図る。</li> <li>・菜園や飼育活動を継続して実施し、思いやりの心などが育めるように支援していく。</li> </ul>			

<b>具体的 取組内容④</b>		こどもの実態に応じた教育環境・機会を整え、すべてのこどもが希望や夢を持てるよう、施策の充実を図ります。		
個表 番号 31	<b>課名</b>	学校教育課		
	<b>前年度 事業実績</b>	令和4年度を初年度とした第2期香南市教育振興基本計画に基づき、「子どもに夢 青年に希望 高齢者に生きがい」を基本理念とし、「愛あふれ 明日(あした)を拓く 香南っ子」をめざす子ども像として、教育の推進に向けた取組を展開している。連携を通して身に付けさせたい3つの力を「コミュニケーション能力、規範意識、自尊感情」と定め、中学校区ごとに保幼小中の連携による取組を展開している。発達段階に応じた子どもの姿、発達段階に応じて「子どもの主な発達の特徴」「子どもたちの実態」「定着させたい力」「日常的なかかわり・視点」という4つの視点で整理したものを全教職員で共有し、保護者にも配付するほか、園内研修、校内研修、中学校区の合同研修会等で確認しながら取組を進めている。		
		<b>成果</b>	【令和7年度全国・学力学習状況調査 児童生徒質問紙調査より 肯定的評価】 ・「人が困っているときは、進んで助けている」令和7年度小学校95%（国93.7%）・中学校89.4%（90.9%）（令和6年度小学校93.9%・中学校87.5%）※他者への貢献意欲が高い。 ・「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」令和7年度小学校82.7%（国78.1%）・中学校78.4%（国79.2%）（令和6年度小学校78.6%・中学校79.3%）※多様性へのポジティブな反応がみられる。 ・「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」令和7年度小学校90.3%（国81.3%）・中学校80.6%（国75.3%）（令和6年度小学校87.9%・中学校82.3%）※地域貢献意欲が高い。	
		<b>課題</b>	【令和7年度全国・学力学習状況調査 児童生徒質問紙調査より 肯定的評価】 ・「自分には、よいところがあると思う。」令和7年度小学校86.5%（国86.9%）・中学校84.7%（国86.2%）（令和6年度小学校85.0%・中学校85.8%）※前年度より改善傾向にあるが、全国平均にあと一歩届いていない。 ・「将来の夢や目標を持っている」令和7年度小学校79%（国83.1%）・中学校70.3%（67.5%）（令和6年度小学校82.2%・中学校73.7%）※小学校では全国-4.1p、中学校は全国比ではプラス。	
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施		
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
<b>本年度 計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人を助けたい」「社会をよくしたい」という意欲や行動に対し、引き続き周囲（友達・家庭・地域・教職員）が価値づけを徹底し、「あなたのおかげで助かった」という実感が、「自分にはよいところがある」という確信に変わるよう支援する。</li> <li>・地域で活躍する大人との関わりを増やし、「社会をよくしたい」という意欲を、具体的な夢へ昇華させる支援を工夫する。</li> </ul>			

<b>具体的 取組内容⑥</b>		こどもの学力向上をめざし、基礎学力の向上と定着を図る取組を強化するとともに、キャリア教育における進路指導や進路支援の充実に取り組みます。		
個表 番号 32	<b>課名</b>	学校教育課		
	<b>前年度 事業実績</b>	県主催の研修会で共有されたキャリア教育の意義や重点事項を本校の校内研修に還元し、全教職員での共通理解に努めた。あわせて、各種アンケート等の結果から児童生徒の実態を把握し、全体計画に沿って担当者を中心とした組織的な推進体制の構築を図った。		
		<b>成果</b>	令和8年1月実施県調査によると、小中学校におけるキャリア教育に関する校内研修の実施率は100%に達した。また、中学校において高知県教育委員会発行のキャリア教育副読本「みらいスイッチ」の活用状況も100%を達成し、市内全域での計画的な推進が図られた。	
		<b>課題</b>	令和7年度全国学力・学習状況調査の結果、児童生徒質問紙における「将来の夢や目標を持っている」との肯定的回答は、小学校で79.0%（前年比3.2ポイント減）、中学校で70.3%（同3.4ポイント減）と、いずれも低下傾向にある。一方で、「地域や社会をよくしたい」との意向は小学校で90.3%、中学校で80.6%と高く、社会貢献への潜在的な意欲が見て取れる。この現状を踏まえ、小中の校種間連携を一層深めるとともに、生産者との交流や職場体験といった「社会とのつながり」を実感できる教育活動を教育課程へ安定的・継続的に位置づけ、児童生徒の志を育む実践を地道に積み重ねていく。	
	<b>達成度</b>	A:概ね達成できた    B:達成には至らないが取組中    C:未実施		
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止			
<b>本年度 計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本年度は県指定「発見・発掘・発信 ふるさと高知キャリア教育推進モデル地域事業」を軸に、キャリア教育を推進する。第2期香南市教育振興基本計画の目標数値の達成に向けて、各種事業東部教育事務所の指導主事等の指導・助言を仰ぎつつ、拠点校の実践を市内全域に横展開し、各学校が指導力の向上を支援する。</li> <li>県や市主催の研修会に積極的に参加し、内容を校内研修で職員に周知し、改善のポイントを共有し授業改善につなげるようにする。</li> </ul>			
個表 番号 33	<b>課名</b>	学校教育課		
	<b>前年度 事業実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校3年生を対象としたチャレンジ塾を4会場（夜須公民館、香我美市民館、赤岡市民館、のいちふれあいセンター）で開催し学習支援を行った。</li> <li>令和7年度は中学3年生を対象とした高知県高等学校等奨学金への申請が2件あり、2件内定を受けた。香南市にも奨学資金貸付の制度があり周知したが、高知県の奨学金貸付額が多いため、利用者がいない状況。</li> </ul>		
		<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャレンジ塾は4会場で計71名の生徒が受講し、継続的な学習支援を行った。チャレンジ塾の認知度が上がり受講生も増えている。令和7年度を受講生は、全員高校進学を果たした。</li> <li>奨学資金については、高知県高等学校等奨学金への申請が2件あり全て内定を受けた。</li> </ul>	
		<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒に対してチャレンジ塾を受講し学習環境の構築と学習支援を提供することができた。生徒数の増加に伴い20名を超える教室では、生徒への指導に課題がある。そのため、学習支援員とこまめに情報共有し、対応していく必要がある。</li> <li>進路保障について、今後も計画的、継続的な取組を推進する必要がある。</li> </ul>	
	<b>達成度</b>	A:概ね達成できた    B:達成には至らないが取組中    C:未実施		
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止			
<b>本年度 計画内容</b>	引き続き、学習支援の場を設け、よりよい学習環境の構築を行う。			

推進方策		2 子育て支援体制の充実		
具体的取組内容①		あいさつ運動や「早寝・早起き・朝ごはん」運動などの取組を通じて、地域や家庭と連携して基本的な生活習慣の確立を図ります。		
個表 番号 34	課名	こども課		
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康だより」や「給食だより」を通じて、生活リズムと朝食摂取の大切さや食育についての情報を発信した。</li> <li>・3歳児を対象に生活リズムチェックカードを活用し、早寝早起き朝ごはんに取り組んだ。また、取組前には3歳児に食育紙芝居の読み聞かせを行い、保護者には「すくすくリズムで元気もりもり」の冊子を使用して生活リズムの大切さの学習会を実施した。</li> <li>・参観日等で、保護者に対して栄養士による講話を行った。</li> <li>・健康対策課、食生活改善推進協議会と連携を図り、朝ごはんの劇や調理実習を実施した。</li> </ul>		
		成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参観日の講話に生活リズム（睡眠）や給食の試食、砂糖水の飲み比べなど保護者が体験できる内容を取り入れ、情報提供や生活リズムと朝食の大切さなど食についての意識を高めることができた。</li> <li>・令和7年度の3歳児の朝食摂取率は、97.9%で香南市食育推進計画の目標値である98%にわずかに達していないが、昨年の95.3%より数値は良くなっているので、今後も引き続き継続して啓発を行っていく。</li> </ul>	
		課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期は、保護者の生活習慣の影響を受けやすく、保護者が朝食を摂取することで、こどもの摂取率も上がるため、様々な機会を通じて保護者への継続した取組を行う必要がある。</li> <li>・3歳児での生活リズムチェックカードの取組をきっかけに、各年齢において継続した取組を行う必要がある。</li> </ul>	
		達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度計画内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おたよりや参観日等を利用して、こどもと保護者への周知・情報発信を行う。また、送迎時や連絡帳を通して、家庭や園での様子を共有し、家庭との連携を図る。</li> <li>・関係機関と連携を図り、食育事業を実施する。</li> </ul>			
個表 番号 35	課名	学校教育課		
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的にTPOに応じたあいさつができる児童生徒の育成を目指し、各校において児童会、生徒会、PTAの主体的な活動として取り組んだ。</li> <li>・栄養教諭等による食育指導等を各校で実施し、朝ごはんの大切さについて伝えた。</li> <li>・生活実態調査を複数回実施し、児童生徒の実態を把握するとともに、改善に向けて取り組んだ。</li> </ul>		
		成果	朝食摂取や生活リズムの大切さについての意識を高めることができ、令和7年度実施全国学力・学習状況調査では、朝食摂取率（毎日食べている児童生徒）は小学校95.8%（前年比4.7ポイント増）の摂取率である。	
		課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度 全国学力・学習状況調査において、中学校の朝食摂取率は89.0%（前年比3.3ポイント減）に低下した。また、全国体力・運動能力等調査では、肥満傾向率が15.2%（前年比0.9ポイント増）となり、目標値10.0%以下を大きく上回っている。これを受け、食育や調理実習を一層推進し、自ら食事を作る「技能」の習得とともに、食生活や運動の重要性を実感できる指導が必要である。</li> <li>・生活習慣の基盤は家庭にあることから保護者との連携を密にし、学校・家庭の両面から「進んであいさつができる児童生徒」の育成に、粘り強く継続的に取り組む。</li> </ul>	
		達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度計画内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的なあいさつができる児童生徒を育成するため、児童会・生徒会およびPTAの活動計画に「定期的なあいさつ運動」を位置づけ、集会活動での呼び掛けを含めた継続的な取り組みを展開する。あわせて保護者と緊密に連携し、家庭内においても進んであいさつを交わす習慣が定着するよう働きかけを行う。</li> <li>・食育や基本的な生活習慣の確立に向け、給食だよりや保健室だより、保護者懇談会等の多様な機会を活用し、児童生徒および保護者への啓発と情報発信を継続的に実施する。</li> </ul>			

具体的 取組内容②		地域での子育て支援事業（共働き家庭の支援を目的とした施策含む）を充実させ、こどもの居場所づくりや親子での交流の場の確保及び情報発信など、子育て世代のつながりの強化に向けて取り組みます。		
個表 番号 36	課名	こども課		
	前年度 事業実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠期から就学期までの助成制度や子育て支援制度、子育ての悩み事や困った時の相談先などの子育て関連情報をまとめてインターネット上のサイトに掲載している。</li> <li>・スマートフォン用サイトへつなぐQRコードの設定や「LINE」を活用した市のホームページと連動した情報発信ツールの普及を行った。</li> <li>・香南市子育て情報サイト「香南キッズ」を通じて、「LINE」登録者へのおたよりの配信のほか、健診や予防接種、育児学級などの子育て情報をタイムリーに発信した。</li> </ul>	
		成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な機会を捉えて、子育てに関する情報提供ができた。アクセス数10,790回となっている。</li> <li>・拠点となる香南市総合子育て支援センターの周知・利用が進んだことにより、相談などを含め総合的な子育て支援につながった。</li> </ul>	
		課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て家庭に必要な情報をタイムリーに提供する。</li> <li>・子育て情報サイト「香南キッズ」への登録者数（R8.4.6現在：181人）を増やし多くの家庭へ配信されるよう、SNSへの対応に取り込む必要がある。</li> <li>・育児サークルなどの中心となって活動する人材の育成が課題である。</li> </ul>	
		達成度	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度 計画内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て情報サイト「香南キッズ」を使った情報発信や、広告入りガイドブックの再編集を行い、子育て施策の周知を図っていく。</li> <li>・子育て関係課（健康対策課・福祉事務所）と連携しながら、子育て支援の充実を図る。</li> <li>・健康対策課の母子事業を総合子育て支援センターで実施することで、子育てに関する情報提供を効率的に行っていく。</li> </ul>			
個表 番号 37	課名	人権課		
	前年度 事業実績		○児童館事業 赤岡市民館及び吉川市民館において、放課後や長期休暇中の児童の居場所として、遊びや仲間づくりを主な目的として児童館事業を実施した。	
		成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの居場所、仲間づくりの拠点の一つとしての活動ができた。</li> <li>・児童館内での遊びを通じて、創造力や協調性を育むことができた。</li> <li>・グループでの活動や集団遊びを通して、友達作りが促進され、社会性が向上した。</li> </ul>	
		課題	安全で安心な子どもの居場所として保護者に周知する。また、夏休み教室などの行事を充実させていく必要がある。	
		達成度	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度 計画内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画に沿った事業運営を行い、児童の健全育成を図るとともに保護者が安心して利用できる児童館を目指す。</li> <li>・児童館だよりで活動内容等を保護者へ情報発信し、保護者が安心して働くことができるような取組を進める。</li> </ul>			
個表 番号 38	課名	生涯学習課		
	前年度 事業実績		【若杉子ども会（赤岡地区）、若竹会（吉川地区）】 子どもの発達段階に応じて人権をテーマに調べ学習や地域学習、仲間づくりなどの活動を展開すると同時に、安全で安心な子どもの居場所を作り、親子や地域の交流の場の提供を行い、地域のつながりの強化を図る。	
		成果	それぞれの活動において初期の目的である「基本的人権を守り、身のまわりにある差別に気づき、仲間と共に協力できる子どもの育成」に年間を通じて取り組むことができた。	
		課題	生活の多様化もあり、参加人数が減少傾向にある。	
		達成度	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度 計画内容	引き続き子ども会行事などを親や地域の方にも関わっていただき行事を開催していく。また、子育て世代などをはじめとする地域のつながりの強化に努める。			

個表 番号 39	課名	福祉事務所
	前年度 事業実績	①特別支援学校等の長期休暇中における日中活動の場を提供し、児童の健全育成を図ると共に、家庭の養育負担を軽減するため、春休みや夏休みに「障害児長期休暇支援事業」を実施した。 ②子どもとの関わり方や子育てに悩みや不安を抱えている保護者が関わり方を学び、効果的な対応を身につけると共に保護者同士の情報交換ができる場を設けることにより健全な親子関係の形成を図る事を目的に「ペアレント・トレーニング講座」を実施した。
	成果	地域で居場所の提供ができ、児童の特性に応じた子育て支援を行うことができた。
	課題	①利用ニーズに対応できる受入体制が必要であるが、人材育成や受け入れ先の確保を行う必要がある。 ②参加人数が減少しているため、今度ペアレントトレーニングで行っている健全な親子関係の形成を目的とした効果的な対応の仕方を広く周知していく方法を検討する。
	達成度	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止	
本年度 計画内容	①長期休暇中における日中活動の場の提供と支援を継続する。 ②既存のペアレント・トレーニング講座から体制を変更し、今年度は障害児サービス事業所等に対してペアレントトレーニングの対応の仕方を基に保護者同士の情報交換の場づくりや健全な親子関係の形成に向けての助言指導などの役割が担えるよう研修会を開催する。	

具体的 取組内容③		子育てに関する相談体制を充実させ、家庭の教育力の向上を支援します。
個表 番号 40	課名	福祉事務所
	前年度 事業実績	・4月に保幼小の全保護者に相談窓口等のチラシ配布した。 ・11月とR8年1月の広報に児童虐待や児童への関わり方、地域の子育て相談の窓口を誌掲。11月の児童虐待防止推進月間に合わせて全保幼小中学校に相談窓口の啓発グッズや冊子など配布。
	成果	・児童本人、保護者からの相談は25件あり、必要な支援や相談機関につなげることができた。 ・こども家庭センターでの相談対応や支援について、組織的に支援の評価や見直しを定期的に実施する体制を構築した。
	課題	令和6年4月1日よりこども家庭センターを設置しているが、センターの役割や業務、相談窓口などの周知・啓発をさらに進め、相談支援の充実を図っていく必要がある。
	達成度	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止	
本年度 計画内容	・こども家庭センターで妊産婦、子育て家庭、子どもからの相談等に母子保健と児童福祉が一体となって支援していく。 ・こども家庭センターの役割や機能などの啓発と広報を行い、周知をしていく。 ・教育部署等の関係機関と情報共有や共通認識に努め、協働して適切な支援の提供していく。	

具体的 取組内容④		子育てにおいて必要な正しい情報を発信し、家庭の子育て力を高めるとともに、母子衛生と乳幼児の健康な生活を図ることを目的として、乳幼児健診や育児相談、母子相談などの事業を実施します。
個表 番号 41	課名	健康対策課
	前年度 事業実績	○乳幼児健診 ・個別健診：4か月健診（令和5年度から開始） 生後3か月から4か月の子どもさんへ個別に受診券を送付。 香南市内の医療機関（おひさまこどもクリニック、野市中央病院、夜須診療所）へ健診を委託。 R7～おひさまこどもクリニック、夜須診療所へ健診委託。 ・集団健診：1歳8か月児健診、3歳5か月児健診 ・実施回数：：各12回 ・受診者数及び受診率（R8.3.31時点） 4か月健診：受診者数（受診率）156人（79.6%）※2月末受診者分まで 1歳8か月児健診：受診者数（受診率）197人（95.7%） 3歳5か月児健診：受診者数（受診率）234人（97.1%） 10か月相談：受診者数（受診率）196人（93.3%）  ○母乳相談（みるくらぶ）から、R7.4月～○こそだてひろば ○助産師相談へ変更 実施回数：35回 実施回数：43回 実施回数：24回 利用人数：171人 利用人数：延162人 利用人数：実32人、延73人
	成果	・4か月健診2医療機関に減少したが、受診者数大幅な低下は見られず、例年通りと考えられる。また、支援が必要な家庭は医療機関からも連絡が入り早期の支援につなげタイムリーな対応ができた。 ・未受診者には連絡を入れ受診勧奨し受診につなげた。 ・健診受診率は全体的に大幅な低下は見られなかった。
	課題	健診未受診者には未受診理由の確認と併せて、法定健診（1歳8ヶ月児、3歳5ヶ月児）の受診の必要性を伝え、課題や成長の確認を行い必要な支援へつなげる。フォロー体制の整備が必要。
	達成度	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止	
本年度 計画内容	・4か月健診の支援が必要な家庭については医療機関から連絡をもらい、連携、フォロー体制の維持。 ・未受診児、未把握児がないように地区担当保健師が訪問や来所等で把握を行う。 ・3歳5か月児健診や母子保健事業で外部スタッフに入ってもらい、R10年度5歳児健診の実施をふまえた体制づくりを行う。	

<b>具体的 取組内容⑥</b>		子育てやこどもの健全育成を目的に活動している団体と連携し、子育て支援事業の実施と団体育成に努めます。		
個表 番号 42	<b>課名</b>	生涯学習課		
	<b>前年度 事業実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ少年団の育成・支援を行った。 【支援団体数】24団体、団員：510人（うち市内在住者：410人）、指導者：73人</li> <li>・補助金制度に関する周知徹底を強化し、香南市のスポーツ振興に携わる方に対して、補助金を交付を行った。 【補助事業名】各種スポーツ大会選手派遣費補助金 【補助事業利用団体数】団体数：9団体 個人：12人 【補助事業名】スポーツ振興人材育成事業費補助金 【補助事業利用者数】0人</li> </ul>		
		<b>成果</b>	今年度については、スポーツ少年団の自主事業である交流駅伝大会も開催でき、四国大会・全国大会に出場した団体が延べ7団体（延べ人数：86人）あった。	
		<b>課題</b>	補助事業利用団体が固定化しつつあるため、固定化しないよう総会等で周知を行う。	
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた    B:達成には至らないが取組中    C:未実施	
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続    ・ <input type="checkbox"/> 統合    ・ <input type="checkbox"/> 拡充    ・ <input type="checkbox"/> 縮小    ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度 計画内容</b>	継続的に活動が行えるよう団体の育成、支援を行う。			

推進方策		3 青少年犯罪・非行予防、いじめ防止の推進	
具体的 取組内容①		学校、家庭、地域社会において青少年犯罪や非行の防止に取り組み、青少年の健全育成を行います。	
個表 番号 43	課名	学校教育課	
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規律意識の向上とルールづくり…全小中学校でネット適正利用の働きかけを計画的に実施した。中学校（100%）での生徒会による校則見直しや、小学校（100%）・中学校（75%）での「いじめ防止基本方針」への児童生徒参画を実現した。</li> <li>・いじめ予防プログラムの定着…全校（100%）で「高知家」プログラムを活用した教職員研修および授業（道徳・特活等）を実施した。</li> <li>・組織的な支援体制の運用…組織的な生徒指導体制について、小学校の71.4%、中学校の50%が「十分できている」と回答した。全中学校にサポートルームを設置し、個別対応体制を整備した。</li> <li>・家庭・地域への情報発信…参観授業や学校通信、HPを活用した人権教育等の情報発信を全小中学校（100%）で継続した。 ※【県調査】人権教育・生徒指導に関する取組状況調査（令和8年1月）より</li> </ul>	
	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ重大事態の抑止…市内全小中学校においていじめ重大事態の発生件数0件を維持している。</li> <li>・児童生徒の主体性の向上…「学校いじめ防止基本方針」の見直しに児童生徒が参画する割合が、前年度の0%から小学校100%、中学校75%へと向上し、自律的なルール遵守の意識が高まった。</li> <li>・早期発見・対応体制の維持：専門家（SC・SSW）を活用した校内支援会は小中学校ともに100%実施できた。月1回以上開催するなど、組織的な対応が定着している。</li> </ul>	
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対面型研修の不足…保護者・地域向けの情報発信は100%実施できているが、対面での「いじめ予防研修」実施率は0%であり、直接的な啓発機会をつくること、参加いただける工夫が必要である。</li> <li>・専門的サポート体制の充実…中学校のサポートルーム設置率は100%だが、専属の支援員配置は25%に留まり、担任等の負担軽減と専門性の担保が課題となっている。</li> <li>・ネットトラブルの深化…SNS等に起因する複雑な事案に対応するため、既存のルール運用に加え、より実践的な情報モラル教育の深化が求められる。</li> </ul>	
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止	
本年度 計画内容	以下の3つのポイントに力を入れて取り組む。 ① 子どもの自律心を育む…校則やいじめ防止方針を自分たちで考え、改善し続ける活動を行う。 ② ネットトラブルを防ぐ…国の啓発動画等を活用し最新の事例を学ぶ「情報モラル教育」を充実させ、SNSによる被害や加害を防ぐ。 ③ 専門家とのネットワーク…スクールカウンセラーなどの専門家と学校がより密に連携し、小さな悩みも早期に見つけ、解決につなげる。		
個表 番号 44	課名	生涯学習課	
	前年度 事業実績	【非行防止活動】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や関係機関と連携し、スクールガードリーダーを含め、青色回転灯搭載車による児童生徒の登下校時の見守りを行った。</li> <li>・地域の量販店や娯楽施設に対し、青少年見守り活動の声かけを実施した。カラオケボックスやパチンコ店への立ち入り検査を実施した。</li> <li>・中学校卒業後も子どもたちとのつながりを切らさない取組を進める。（非行、不登校、ひきこもり等）</li> <li>・不審者対応訓練や防犯教室を市内の保育所や幼稚園にて実施した。</li> </ul> 【環境浄化活動】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・万引き及び深夜徘徊防止のための一声運動ポスターの掲示を実施した。</li> <li>・地域量販店等において、店内の巡回を行い、未成年へのたばこ・酒類の販売禁止、年齢確認の呼びかけやオーバードーズへの対策、有害図書陳列状況の調査を実施した。</li> <li>・地域ボランティアや関係機関と協力して、環境浄化活動「クリーン缶ベン」を実施し地域の清掃活動を行った。また、市内各駅、公園等の人が多く集まる場所の清掃活動を実施した。</li> <li>・各駅の自転車施錠状況を調べるとともに、施錠を呼びかける取組を行った。</li> <li>・地域住民によるわんわんパトロールやこどもあんぜんのいさを推進した。</li> </ul> 【広報活動】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭の日の広報活動として毎月第3日曜日の、前日の土曜日にセンターママによる健全な家庭づくりのため各地域で呼びかけを行った。</li> </ul>	
	成果	学校や関係機関や地域と連携した取り組みにより、街頭補導の件数は近年減少し一定の成果がでており、継続した取り組みを行う必要がある。	
	課題	補導の件数は減少しているが、補導関連の情報受理は増加している。これは、SNS等の普及により青少年たちの行動範囲や交友関係が広がり、非行が地域から見えにくくなっていることが原因だと考えられる。今後より一層各関係機関が連携して、対策を検討していく必要がある。	
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止	
本年度 計画内容	さまざまなボランティアや関係機関と協力・連携した活動を継続して実施する。		

具体的 取組内容②		喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する教育・啓発に取り組みます。		
個表 番号 45	課名	健康対策課		
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央東福祉保健所管内で中央東薬物乱用防止推進協議会を組織し、小・中・高校生対象に薬物乱用防止啓発活動を学校の要請に応じて実施した。香南市では夜須中学校、野市小学校で実施した。</li> <li>「ダメ。ゼッタイ。」6.26ヤング街頭キャンペーンを実施した。</li> <li>実施日：令和7年6月21日（土）、土佐町で開催。110人以上の方が出席した。</li> </ul>		
		成果	中央東薬物乱用防止推進協議会と連携し、啓発活動を実施した。	
		課題	インターネットの普及から大麻などの危険な薬物の誤った情報が流布され薬物乱用者層の低年齢化が進んでおり、若年層を中心とした事犯の増加が問題となっている。薬物乱用防止に向けた効果的な普及・周知を行う。	
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	令和8年度薬物乱用防止キャンペーンを中央東薬物乱用防止推進協議会と連携し、実施する。			

具体的 取組内容③		学校におけるいじめや体罰、不登校を防止するためにスクールカウンセラーやソーシャルワーカーの配置を推進するとともに、いじめや非行をした児童生徒に対する支援機関の充実と相談窓口の充実にも取り組みます。		
個表 番号 46	課名	学校教育課		
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクールカウンセラー配置により、児童生徒や保護者への面談を通して児童生徒の心の安定を図るとともに、悩みや不安等の軽減を図った。また、スクールカウンセラーと連携することを通して、様々な心理学（学校心理学・発達心理学・臨床心理学）等の視点を学び、多面的な児童生徒理解につなげている。</li> <li>スクールソーシャルワーカー配置により、保育・教育・福祉機関・医療機関と家庭をつなぎ、情報連携及び行動連携を図り、家庭を含む子どもを取り巻くさまざまな環境の改善に向けた支援を行っている。</li> <li>学校配置カウンセラーの他、香南市教育支援センター「森田村塾」と連携したアウトリーチ型スクールカウンセラーの学校訪問による校内研修や、ほのほの相談（月2回）を行っている。</li> <li>SOSの出し方研修の実施や様々な相談先にアクセスしやすい環境を整備している。</li> <li>青少年育成係や学校警察連絡制度を活用した連携により支援の充実を行っている。</li> </ul>		
		成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校児童のうち、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが参加した校内支援会で支援内容を検討するなど校内支援会検討率は、小学校100%、中学校100%となった。</li> <li>「校内支援会において、SC・SSW等の専門家の見立てをもとに支援方法などを決めている。」小中学校100%</li> <li>「児童福祉部署との連携」100% 「SOS出し方教育」小学校71.4%・中学校100%実施</li> <li>※【県調査】令和8年1月実施「人権教育・生徒指導に関する取組状況調査」より</li> </ul>	
		課題	いじめ発見のきっかけについては、小学校ではアンケート（年3回実施）、本人、保護者の順であり、中学校では本人、保護者、学級担任、学級担任以外の先生であった。令和7年度の全国の結果は未公表だが、小中学校ともに全国平均以下の見通しである。いじめ認知件数が減少してきており、「見逃し」が発生している可能性がある。教職員による日常の微細な変化（未然防止・初期発見）の察知が課題である。	
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>「小さな兆候をどれだけ拾い上げ、組織で共有できたか」を評価の軸に据えていく。</li> <li>小学校低学年からの「SOSの出し方教育」の充実</li> <li>学校間・学年間での認知基準のズレがないか、再度確認を行い、共有を図る。</li> </ul>			

具体的 取組内容④		生涯学習課		
個表 番号 47	課名	生涯学習課		
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>補導センターとしての相談活動に加え、公認心理師による「子育て・教育無料相談」を毎月2回実施した。</li> <li>困り感のある児童に対して、学校および家庭訪問を行い、支援した。</li> <li>メンタルサポート高知による、子育てのお悩み相談や親子のコミュニケーション方法を学べる「参観日カフェ」や「図書館カフェ」を実施した。</li> </ul>		
		成果	公認心理師による「子育て・教育無料相談」を開始し、義務教育のみならず幅広い年齢層の相談を受けることができた。「参観日カフェ」や「図書館カフェ」では、他者への心地よいアプローチとコミュニケーションアップのため方法を学び、自分の子どものタイプを知ること、親子間でおこるミスコミュニケーションの改善や夫婦間で起こる価値観の違いなどの理解につなげることができた。	
		課題	少しずつ浸透してきているが、まだまだ支援が行き届いていない家庭等があるのも実情である。相談場所があることの広報活動と、誰もが気軽に参加しやすいような体制を整えていく必要がある。	
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	「子育て・教育無料相談」から、居場所づくりや親の会の実施へと活動の幅を広げていきたい。			

<b>推進方策</b>		4 児童虐待の防止		
<b>具体的取組内容①</b>		早期発見・早期対応を図っていくため教育・保健・福祉関係機関と十分な連携を行い、虐待を受けたこどもに対するケアやその家族に対する支援の充実を図ります。		
個表 番号 48	<b>課名</b>	福祉事務所		
	<b>前年度事業実績</b>	令和7年度にこども家庭センター（児童福祉）にて受付した相談・通告件数は130件。年度内に新規虐待認定した22件。虐待種別は、身体的虐待6件、ネグレクト9件、心理的虐待7件となっている。児童虐待は、児童からの訴えや傷痕の発見からの通告や、保護者からの養育の困り感の相談などが多い。児童虐待の背景には保護者に治療中の病気があったり、子どもの障害への対応の困難さを抱えていたり、子どもの障害への受け入れができないなどがある。そのため、保護者への支援では虐待対応と合わせて、保護者の抱えている悩みや困り感を十分に聞き、必要に応じて家庭を取り巻く関係機関との状況の共有や連携を密に図り、支援を行った。（*R7年度数値は参考値）		
		<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と情報共有や連携を行い、必要な支援の提供や適切な機関へ相談をつなげることができた。</li> <li>こども家庭センターの相談対応や支援について、組織的に支援の評価や見直しを定期的に実施する体制を構築した。</li> </ul>	
		<b>課題</b>	令和6年4月1日よりこども家庭センターを設置しているが、センターの役割や業務、相談窓口などの周知・啓発をさらに進め、相談支援の充実を図っていく必要がある。	
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども家庭センターで妊産婦、子育て家庭、子どもからの相談等に母子保健と児童福祉が一体となって支援していく。</li> <li>こども家庭センターの役割や機能などの啓発と広報を行い、周知をしていく。</li> <li>教育部署等の関係機関と情報共有や共通認識に努め、協働して適切な支援の提供と評価を行う。</li> </ul>			
個表 番号 49	<b>課名</b>	福祉事務所		
	<b>前年度事業実績</b>	要保護児童対策地域協議会における実務者会議（各ケース支援プランの成果や進捗管理等）において、児童と直接関わる所属機関の実務担当者に出席を依頼し、児童や家庭の直近の状況や各所属機関での取組の共有を図った。		
		<b>成果</b>	各保幼小中学校等の実務担当者や関係課が実務者会議（年3回）に参加することで、様々な事例対応を知る機会となり、また関係機関と顔の見える繋がりが持て支援や課題の共有が図られたことで、市全体の支援の底上げに繋がる機会となった。	
		<b>課題</b>	児童虐待の早期発見や支援策の向上のため、保健・福祉・教育・医療などの主要機関が定期的かつ密に情報交換する機会を増やし、各支援機関の専門性や機能を活かした役割の明確化など支援体制の強化を図る必要がある。	
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども家庭センター及び要保護児童対策地域協議会の機能強化と関係機関等との有機的な連携体制の構築、職員の資質向上を図る。</li> <li>民生委員児童委員、主任児童委員に向けた児童虐待に関する研修会を開催し、虐待を早期発見する視点や地域における役割等を学んでもらい、相談や見守り体制の充実を図る。</li> </ul>			
個表 番号 50	<b>課名</b>	こども課		
	<b>前年度事業実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要保護児童対策地域協議会の代表者会議、実務者会議、ケース会などへ参加し、対応を協議した。</li> <li>県教育センター等の研修参加を推奨し各園から参加、実践に努めた。</li> <li>早期発見のチェックや見守りチェックポイントを活用し、日々の生活のなかで気になる子どもの見守り体制の強化を図り予防に努めた。</li> <li>保護者との語らいの機会を持ち、保護者のしんどさに寄り添うと共に情報収集を行い、各関係機関との共有に努めた。</li> </ul>		
		<b>成果</b>	関係機関と連携しながら、虐待予防と虐待発見の早期通報に務めることができた。	
		<b>課題</b>	児童虐待への早期発見、早期対応（確信が持てない場合の対応など）の理解を深めるため、研修や関係機関との連携の取組を引き続き進める必要がある。	
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して各園所で児童虐待対応への体制整備の維持強化に努める。</li> <li>継続して乳幼児虐待予防研修を実施し、職員の資質向上を図る。</li> </ul>			

個表 番号 51	課名	学校教育課		
	前年度 事業実績	<p>○児童虐待の早期発見から支援までを円滑に行うため、以下の3つの柱で取組を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早期発見・通告体制の強化…年3回の「学校生活アンケート」や個人面談、「きもちメーター」の活用等による児童生徒のシグナルのキャッチ。健康診断、水泳指導、日常の観察を通じた身体的・精神的な変化の早期把握。チェックリストを用いた組織的な判断と、管理職への迅速な報告・通告の徹底。</li> <li>・関係機関との強固な連携…スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）の配置による専門的な相談体制の構築。「要保護児童対策地域協議会」や「ケース会議」への積極的参画（学校・学校教育課・SSWの連携）。月1回の「SSW等連絡協議会」の開催による、複雑な家庭背景をもつ事案の情報共有。</li> <li>・啓発・研修の充実…こども家庭庁作成のマニュアル活用や所属長会での周知。教職員、保護者、児童生徒それぞれを対象とした虐待防止啓発資料の配布と校内研修の実施。</li> </ul>		
		成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期発見・通告…アンケートや「きもちメーター」の活用により、通告・相談数が前年度より1.7倍へ増加。隠れた虐待をキャッチする感覚が高まった。</li> <li>・組織的対応…管理職への報告と組織的な通告フローが定着し、学校孤立を防ぐ「チーム学校」としての初動が迅速化した。</li> <li>・専門機関連携…SSWやSCとの月例協議により、福祉的視点を入れた多角的なケース検討が可能になった。</li> </ul>	
		課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期発見・通告…件数の急増に対し、教員不足や若手教員の経験不足により、一人ひとりの変化に気づく「認知力」に個人差が生じている。</li> <li>・組織的対応…早期発見後の対応業務（記録・会議・調整）が膨大になり、現場教員の業務負担感がさらに増大している。</li> <li>・専門機関連携…依然として「子育てに困難を抱える世帯」の深刻化が進んでおり、学校内だけでは解決できない事案へのより密な外部連携が求められている。</li> </ul>	
		達成度	<p>①:概ね達成できた    B:達成には至らないが取組中    C:未実施</p>	
本年度計画	<p><input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 拡充    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 廃止</p>			
本年度 計画内容	<p>○課題を踏まえ、今後は「個人のスキル」に頼らない組織的な支援体制をさらに強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「こども家庭センター」等との一体的連携の深化…福祉・保健が一体となった「こども家庭センター」との連携を強め、通告後の家庭支援や自立支援までを見据えた切れ目のないサポート体制を構築する。</li> <li>・若手教員等の「認知力」向上に向けた実践的研修…経験の浅い教員でも虐待の予兆（違和感）を見逃さないよう、事例検討を中心とした具体的・実践的な校内研修を継続的に実施する。</li> <li>・SSW・SCのさらなる活用と役割分担の明確化…教職員が抱え込みすぎないように、SSW等の専門職がより主体的にケースに関わる環境を整え、学校の負担軽減と支援の質向上を両立させる。</li> <li>・未然防止のための「相談しやすい環境」づくり…児童生徒や保護者が「助けを求めてもいいんだ」と思えるよう、相談窓口の周知を強化し、日常的なコミュニケーションを通じた予防啓発に努める。</li> </ul>			
個表 番号 52	課名	人権課		
	前年度 事業実績	<p>○相談業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権課および市民館の相談窓口において、各課と連携した支援体制の確保を図った。</li> </ul> <p>○広報誌への掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌8月号：「こまったときはそうだんしてね！」と題し、こどもの人権相談について、小学生にも分かりやすく、寄り添いを意識した文面や内容で掲載した。</li> <li>・SOSモニターの紹介を広報誌にて行った。</li> </ul>		
		成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各課と連携し、相談内容に応じて適切な支援につなげられる体制づくりを図ることができた。</li> <li>・広報誌において、こどもに寄り添い、理解しやすいような表現と内容に仕上げたとともに、こどもの人権相談強化週間や相談窓口の情報を掲載したことで、人権相談に対する認知向上と相談しやすい意識の醸成を図ることができた。</li> </ul>	
		課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談窓口の周知や利用促進が十分とは言えず、潜在的な相談ニーズの把握が課題であるため、継続的な啓発や関係機関との取り組みを推進していく必要がある。</li> <li>・相談を受ける職員の相談員研修を行うなど、相談体制の充実を図る必要がある。</li> </ul>	
		達成度	<p>①:概ね達成できた    B:達成には至らないが取組中    C:未実施</p>	
本年度計画	<p><input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 拡充    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 廃止</p>			
本年度 計画内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談窓口職員の資質向上のための研修を受講する。</li> <li>・こどもの人権について広報誌や市のSNS等による周知・啓発を継続して実施する。</li> <li>・香南ケーブルテレビに「児童虐待」「いじめ」に関する映像の放送を依頼する。</li> <li>・相談窓口の周知を強化し、潜在的な相談ニーズの掘り起こしに努める。</li> </ul>			

# ○高齢者

<b>基本目標</b>		1 すべての人が豊かな高齢期を過ごせる地域づくりをめざす
<b>推進方策</b>		1 高齢者に対する理解促進と認知症などの正しい知識の普及啓発活動の推進
<b>具体的取組内容①</b>		高齢者自身や高齢者を取り巻くさまざまな生活上の問題についての理解と普及啓発を行います。
個表 番号 53	<b>課名</b>	人権課
	<b>前年度事業実績</b>	市民館においては、市民館だよりや各種事業を通じて、地域住民や来館者が高齢者の参加可能な活動を理解しやすくなるよう周知に努めた。
	<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県から提供される情報を継続的に収集、保存できたことで、今後の取組みに向けた基礎資料が整った。</li> <li>最新の動向や施策を把握することで、人権に関する知識の更新が図られた。</li> <li>市民館において、市民館だよりや事業を通じ、高齢者が参加できる活動の周知と理解促進を図ることができた。特に、赤岡市民館においては、市民館だよりで周知や参加者の口コミにより各種健康体操に参加者が増えた。</li> </ul>
	<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の収集、保存に留まり、具体的な取り組みの実施に繋がっていない。</li> <li>担当内での共有や検討が不十分で、行動につながる体制が整っていない。</li> <li>更に参加者を増やすため、より効果的な広報内容の工夫や検討を継続的に行う必要がある。</li> </ul>
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止	
<b>本年度計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民館が実施する高齢者向け事業の広報を引き続き行い、参加促進を図る。</li> <li>市民館と連携し、広報誌や各種事業を通じて、地域住民や来館者への周知の充実を図る。</li> </ul>	
<b>具体的取組内容②</b>		学校等や社会教育団体などにおいて、高齢者の人権問題に関わる人権教育と啓発を推進します。
個表 番号 54	<b>課名</b>	学校教育課
	<b>前年度事業実績</b>	<p>○人権教育全体計画及び人権教育年間指導計画に基づき、学校教育全体を通じて、高齢者への理解を育む教育及び高齢者に対する尊敬や感謝の心を育てるとともに、高齢社会やその課題に関する理解を深める教育を推進している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者との世代との相互理解や連帯感を深めるため、世代間のふれあいの機会の充実</li> <li>社会に関する基礎的理解とともに、高齢者の人権に対して共感的に受け止めることができるような感性を育成するために、発達段階に応じて家庭や地域と連携を図りながら、高齢者と交流する機会を設けた。</li> </ul>
	<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科・領域において、計画的に高齢社会に関する基礎的理解とともに、地域の特性や実態を踏まえながら学校行事や生活科（昔遊び）、総合的な学習の時間、道徳科の内容を工夫し交流活動を行っている。</li> <li>香南市社会福祉協議会と連携して高齢者疑似体験を行ったり、総合的な学習の時間に、福祉、防災学習を進め、高齢者が安心して暮らせるまちづくりを考えたりした。このように、これまで家庭や地域を支えてくれた方の存在や思いに気づき、家庭や地域の一員として自分たちができることを考え、意見交換するなど内容の充実も図られている。</li> </ul>
	<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識として「知っている」状態から、共感を持って「行動できる」状態へ繋げること…「知的理解」から「実践」へ高齢者に関する知識を深めるだけでなく、それを自分自身の「人権感覚」として定着させ、実際の行動（助け合いや配慮）に移していくこと。</li> </ul>
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止	
<b>本年度計画内容</b>	<p>○「自分事」として捉えるための体験学習と、現代的な社会問題へのアプローチを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体験型学習のさらなる充実</li> <li>地域の教育力を積極的に活用し、児童生徒が主体的に関われる「生きた体験」の場を増やす。</li> <li>高齢者の人権侵害、孤独・孤立といった深刻な社会問題を授業に取り入れ、他人事ではなく「自分の身近な問題」として考える機会を作る。</li> <li>これまでの交流をベースに、さらに相互理解を深める連携体制を維持・発展させる。</li> </ul>	
個表 番号 55	<b>課名</b>	生涯学習課
	<b>前年度事業実績</b>	中央生活楽級や香南いきいき楽級の学習会で、香南市の人権課題の学習会を開催するよう計画している。
	<b>成果</b>	香南いきいき楽級で「ピキニ被ばく」についての講演を開催し、その中で被爆者やその家族の人権についても取り上げるとともに、質疑応答時に講師と参加者のやり取りも積極的におこなわれ、学びを深めた。
	<b>課題</b>	今後も高齢期を豊かに過ごし、老後を楽しく生きるための講座の一つとして、人権講座を実施する。
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止	
<b>本年度計画内容</b>	本年度も高齢期を豊かに過ごし、老後を楽しく生きるための講座の一つとして、人権講座を開催できるようにする。	

<b>具体的 取組内容③</b>		認知症に対する理解を深めるために、認知症サポーター養成講座や認知症高齢者を考える会（明日葉会）への支援、認知症声かけ見守り訓練などを行います。		
個表 番号 56	<b>課名</b>	高齢者介護課		
	<b>前年度 事業実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーター養成講座の開催。実施回数：8回、サポーター養成者数：143人</li> <li>認知症高齢者を考える会（明日葉会）への協力（講演会開催の周知啓発及び定例会への参加）</li> <li>認知症カフェの開催 開設か所数：5か所（内R7年度新規開設：1か所） 開催回数：78回 参加者数（延）：1,568人（R8.4.1時点の実績）</li> </ul>		
		<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャラバンメイトとともに、サポーター養成講座の内容を見直し。対象者に合わせ、ロールプレイ等を盛り込んで実施した。</li> <li>市内の介護事業所を利用している方と共同で認知症月間の展示作品を制作。市内商業施設や野市図書館にてパネルを展示し、普及啓発を行った。</li> </ul>	
		<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症当事者の方やそのご家族の思いを認知症サポーター養成講座の内容に盛り込み、認知症を知る・考える機会にしていく。</li> <li>認知症高齢者を考える会（明日葉会）主催の講演会は平均20名程で参加者がいるものの、会員確保にはつながり切れていない。</li> </ul>	
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度 計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症当事者の方とともに、普及啓発を行っていく。</li> <li>認知症高齢者を考える会（明日葉会）の支援を行う。</li> </ul>			
<b>推進方策</b>		2 高齢者の地域生活支援と虐待防止対策		
<b>具体的 取組内容①</b>		高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、社会福祉協議会や民生委員などと連携し、地域における高齢者の見守り体制を整備します。		
個表 番号 57	<b>課名</b>	高齢者介護課		
	<b>前年度 事業実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問や来所、電話による相談に対して、高齢者の状況（状態）にあった介護や福祉サービスの紹介や支援を実施した。</li> <li>地域生活支援において社会福祉協議会、生活支援コーディネーターと定期的に情報交換を行い地域で行える高齢者の見守り体制の構築を話し合った。</li> <li>民生委員等の組織と高齢者の状況について情報共有し、地域把握に努めた。</li> </ul>		
		<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の関係機関と情報共有できる関係性が確立され連携体制の強化に繋がった。</li> <li>高齢者の状況に応じた適切な情報提供や支援が実施出来た。</li> </ul>	
		<b>課題</b>	地域での見守り体制が希薄になってきており、地域と繋がっていない高齢者の社会参加が課題。	
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度 計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関（民生委員、社会福祉協議会、金融機関等）と情報共有を行い、支援体制の充実を図る。（継続）</li> <li>市民向け情報提供活動（広報誌、チラシ配布、ホームページ、香南ケーブルテレビ）を実施する。（継続）</li> </ul>			
個表 番号 58	<b>課名</b>	人権課		
	<b>前年度 事業実績</b>	地域の高齢者等を対象として、創作活動やレクリエーションを通して自立支援や生きがいを高めるとともに福祉を人権の視点で捉え、人権・同和問題の解決に向けた地域での支え合いの仕組みづくりを進めるため隣保館デイサービス事業を実施する。		
		<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>創作活動やレクリエーションを通じて、高齢者の心身の活性化や閉じこもり防止につながった。</li> <li>参加している高齢者等が交流を通して、健康維持や生きがいづくりを図りながら生活状況の確認を行うことができた。</li> </ul>	
		<b>課題</b>	デイサービス利用者の固定化や地域ボランティアの高齢化が課題となっている。新たな利用者や地域ボランティアを増やすために情報発信をして、地域の高齢者の孤立を回避し、自立した生活が送れるよう支援を行っていく必要がある。	
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度 計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続してデイサービスによる支援を実施し、高齢者が安心して暮らせる見守り体制を整える。</li> <li>市民館だよりにデイサービスについて周知するなど新たな利用者や地域ボランティアを増やす取組を進める。</li> <li>市民館において、地域の民生委員と連携を図りながら見守りが必要な高齢者の支援を実施する。</li> </ul>			

<b>具体的取組内容②</b>		高齢者の心身の状況や環境などに応じた介護保険のサービスや医療制度の情報を提供するとともに、相談体制やサービスの充実に取り組みます。	
個表 番号 59	<b>課名</b>	高齢者介護課	
	<b>前年度事業実績</b>	<b>成果</b>	高齢者と家族に対して介護保険制度やサービスの周知が図ることができた。また、介護保険サービスの未利用者へ訪問により、未利用理由や生活環境を把握し、家族等への相談対応とともに必要なサービスにつなぐことができた。
		<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>65歳から第1号被保険者となり、医療保険とは別に介護保険料を徴収することになるため、広く広報などで周知を図るとともに、高齢者が制度を理解しやすいような説明に努める必要がある。</li> <li>介護保険を利用する場合の流れやサービス内容等について、よりわかりやすい冊子を作成する必要がある。</li> </ul>
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止	
<b>本年度計画内容</b>	独自で作成している「介護保険サービス利用ガイド」については、サービス事業所の増減や利用料金等の変更に対応したより最新の情報でのパンフレットとなるように作成する。介護予防のパンフレットも独自に作成したことで最新の情報を更新しながら窓口や地域に出向く中で活用し周知していく。		
個表 番号 60	<b>課名</b>	市民保険課	
	<b>前年度事業実績</b>	<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資格確認書や後期高齢者医療保険料額決定通知書の発送時に記載内容をより分かりやすく説明したリーフレット等の同封や広報誌を活用し、制度周知及び理解を図った。</li> <li>限度額情報、長期入院該当、特定疾病情報が資格確認書の任意記載事項となり、限度額適用認定証など、複数の証を医療機関等の窓口で提示する必要がなくなった。</li> <li>マイナ保険証への円滑な移行に向け、デジタルとアナログの併用期間を確保するための暫定的な運用として、マイナ保険証の保有状況にかかわらず、資格確認書の交付を行った。</li> <li>督促状や納期限が過ぎた納付書でもコンビニ収納を可能とすることで、住民の方の利便性が高まった。</li> <li>納付振りが多い1期、3期の未納者については督促状発送前に通知を行った。</li> <li>高齢者介護課や福祉事務所等と連携をとりながら、必要な支援につなげることができた。</li> </ul>
		<b>課題</b>	制度が複雑なため、これからも高齢者が理解しやすい内容で周知・広報をしていく必要がある。
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止	
<b>本年度計画内容</b>	資格確認書の一律交付がなくなるため、丁寧な説明や分かりやすい周知・広報を行う。		
<b>具体的取組内容③</b>		高齢者への虐待の早期発見や早期対応を実施するために、関係機関と連携し、相談体制を充実させるとともに、高齢者の権利擁護を推進します。	
個表 番号 61	<b>課名</b>	高齢者介護課	
	<b>前年度事業実績</b>	<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別ケース専門部会を開催し、司法書士やケアマネジャー、サービス事業所などの関係機関と共に、ケース対応について検討を実施。令和7年度1回開催</li> <li>成年後見制度利用支援事業を実施した（市長申立て（4件）、後見人等への報酬助成（8件））</li> <li>必要に応じた個別ケース会議を実施した（7回）。</li> <li>介護保険事業所を対象に虐待研修を行った（55名参加）。</li> </ul>
		<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者虐待の困難事例に対して、適切な判断と早期対応を行うために、関係機関と連携を図り役割分担と対応力の強化を行う必要がある。</li> <li>施設従事者向け虐待防止研修は、施設職員の入れ替わりが発生することも考慮し、継続的に実施する必要がある。</li> </ul>
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止	
<b>本年度計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と情報交換を行い高齢者虐待の防止、早期発見や早期対応につなげる。</li> <li>法律専門職からのアドバイザー体制のもと権利擁護相談を継続実施。</li> <li>ネットワーク会議及び専門部会を開催し、虐待事例への対応及び関係機関との連携強化に取組む。</li> <li>虐待の早期発見及び防止に向けた啓発活動（市広報誌）や介護保険サービス事業所を対象に研修会の開催。</li> </ul>		

<b>推進方策</b>		3 雇用・就労の促進と生きがいづくり		
<b>具体的取組内容①</b>		高齢者の雇用及び就労の機会を確保するために、公益社団法人シルバー人材センターの円滑な運営を推進し、企業などに対しては、定年後も継続して働ける場づくりの啓発を推進します。		
個表 番号 62	<b>課名</b>	高齢者介護課		
	<b>前年度事業実績</b>	○シルバー人材センター補助金の交付 ・令和7年度補助金実績額：就業機会確保事業12,977千円 ・主たる受託業務 家事支援、草刈り、庭木剪定・伐採、農作業補助、建物管理、建物内清掃、大型車など運転業務 ・令和8年3月31日現在：会員数：212人（前年度比+14人） ○会員募集のためのシルバー人材センターの紹介を、市の広報誌にページを設け掲載した。		
		<b>成果</b>	シルバー人材センター事業の実施により、高齢者の就労や地域貢献の機会を作ることができた。	
		<b>課題</b>	・近年、65歳～70歳といった年齢が現役で仕事をしているのが現状であり、入会しても安定した仕事が見つかるかと辞めていく傾向にあり、会員数が減少していたが、今年度は年度末の比較で増加している。 ・新規会員確保の取組や受注の増額に向けて、今後も広報誌の活用や研修の開催を行う必要がある。	
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施		
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度計画内容</b>	高齢者が働くことを通じて、地域社会の一員としての生きがいを実現し、健康の維持・増進にもつながるシルバー人材センターの活性化に向け、補助を継続する。			
個表 番号 63	<b>課名</b>	商工観光課		
	<b>前年度事業実績</b>	・企業訪問時に定年後も継続して働ける環境づくりの推進に向けて働きかけを行った。 ・施設の維持管理における清掃や草刈りの業務をシルバー人材センターへ依頼した。		
		<b>成果</b>	シルバー人材センターを活用することで就労の機会をつくり、高齢者の働く意欲の向上につながっている。 (清掃回数：27回/年 草刈回数：6回/年)	
		<b>課題</b>	定年後の継続雇用は、企業の規模や事業内容により異なるため「取組のお願い」にとどまっている。	
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施		
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度計画内容</b>	企業訪問時や企業交流会等の機会を通じて取組を行うとともに、シルバー人材センターの積極的活用に取り組む。			

<b>具体的 取組内容②</b>		地域の高齢者が参加する自主活動組織の支援をすることで、高齢者による主体的な取組が実施される地域をめざします。		
個表 番号 64	<b>課名</b>	生涯学習課		
	<b>前年度 事業実績</b>	香南いきいき楽級を開設し、高齢者の生きがいづくりに取り組んだ。 (香南市中央、夜須公民館・香我美市民館：10回、参加者276名)		
		<b>成果</b>	高齢期を豊かに生きるための生活の仕方や老後の不安を安心に変える知恵と工夫などの講座を開催した。	
		<b>課題</b>	今後も高齢期を豊かに生き、老後の不安を安心に変える知恵と工夫をした講座を開催する。	
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度 計画内容</b>	前年度に引き続き幅広い内容で講座を開催するとともに、会場に香我美市民館等を追加して参加しやすくし、参加者の増加につなげる。			
個表 番号 65	<b>課名</b>	高齢者介護課		
	<b>前年度 事業実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者クラブへの活動支援をおこなった。              高齢者クラブ単位高齢者クラブ数：20（赤岡町8 香我美町0 野市町11 吉川町1）              ※夜須地区は、高齢者クラブ連合会で活動している。</li> <li>・自主運動グループ活動の育成支援や、地域の介護予防活動であるいきいきクラブの活動運営支援を行った。              自主運動グループ：市内26地区              いきいきクラブ：市内34地区</li> </ul>		
		<b>成果</b>	【高齢者クラブ】 ・名簿作成、活動報告書により活動実態を明らかにし、活発に事業が実施できていることを確認した。 【自主運動グループ・いきいきクラブ】 ・いきいきクラブは、令和6年度より委託事業から補助金に変更。補助金の申請・実績報告等で混乱することなく各地区主体の活動継続ができるよう支援を行った。 ・自主運動グループ各地区には運動指導士を各地区2回派遣し、活動のフォローを行った。	
		<b>課題</b>	新規会員が少なく会員数は減少傾向で、高齢化・固定化が進んでいる。また代表者、ボランティアの高齢化も進み活動を継続できない地区が出てきている。	
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度 計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者クラブ活動支援              高齢者クラブの活動も固定化が進んでいるので、ポッチャやモルックなどの軽スポーツ活動を取り入れた活動を推進する。</li> <li>・自主運動グループ、いきいきクラブ各事業にフレイル予防の啓発、取り組み強化を行い、各地区主体の活動が継続して行えるよう支援していく。</li> </ul>			

推進方策		4 いくつになっても暮らしやすい環境整備	
具体的取組内容①		すべての人が豊かな高齢期を過ごせるよう、市広報誌の編集や各種事業を実施する際には、ユニバーサルデザインを意識して取り組みます。	
個表 番号 66	課名	総務課	
	前年度 事業実績	広報誌の編集において、すべての人が分かりやすい内容であるために安易に略語や外来語由来の新語などを使用しない、また見やすいよう文字の大きさやフォント、色使いに配慮している。	
		成果	幅広い年齢の市民の方から「分かりやすい、見やすい」などの声を多くいただいた。一方、同調色で文字が見づらい旨の意見を受けた記事が1件あった。
		課題	略語を使用して作成されることの多い原稿作成時において、ユニバーサルデザインの意識を心掛けて、わかりやすい言葉を使用してもらう必要がある。また、文字色だけではなく背景色とのバランスを考えて記事を作成する必要がある。
	達成度	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度計画内容	各課と連携し、ユニバーサルデザインを意識した広報誌編集に努める。		
具体的取組内容②		高齢者にとって負担が少ない交通手段の充実と施設のバリアフリー化を検討し、高齢者に優しいまちづくりを推進します。	
個表 番号 67	課名	住宅政策課	
	前年度 事業実績	高齢者が利用しやすい住環境整備のため、必要に応じて市営住宅の改修（手すりの設置等）などを行った。	
		成果	令和7年度に、介護保険等のサービスを利用して住宅改修（手すりの設置等）を行う際には、模様替え等の申請に対し承認をした。
		課題	居住者の事情による個別対応のため、申し出があるまで改修の必要性の把握が困難である。
	達成度	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度計画内容	市営住宅改修時には、安全性・利便性の確保を図り高齢者に配慮した環境づくりに継続して取り組む。		
個表 番号 68	課名	契約管財課	
	前年度 事業実績	本庁舎の施設及び庁舎敷地整備工事は、ユニバーサルデザインを基本に「高知県ひとにやさしいまちづくり条例」に基づいて実施することとしており、令和7年度は本庁舎北側の敷地整備（敷地内緑化）工事に係る設計を行った。	
		成果	本庁舎敷地の未整備（敷地内緑化）部分について設計が完了した。
		課題	R8年度に予定している本庁舎敷地整備（敷地内緑化）工事を実施する際には、敷地に隣接する歩道に留意し、通行人や施設利用者の安全と利便性を確保する必要がある。本庁舎については、利用者にとって常に使いやすい施設となるよう、社会情勢等に応じて今後もサインや設備等について検討・整備を続ける必要がある。
	達成度	A:概ね達成できた ②:達成には至らないが取組中 C:未実施	
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度計画内容	施設利用者にとって使いやすい施設となるよう、環境整備に努める。		

個表 番号 69	課名	高齢者介護課	
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リフレッシュ移動サロン（買物支援）事業への支援（社会福祉協議会への車の貸与）を行った。</li> <li>・医療機関送迎サービスによる高齢者への通院支援を行った。</li> </ul>	
		成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リフレッシュ移動サロン事業により、高齢者の買物機会を確保することができた。</li> <li>・医療機関送迎サービスにより、受診機会を確保することができた。</li> </ul>
		課題	医療機関送迎サービス事業については、対象となるか判断が難しいケースがある。
		達成度	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度 計画内容	支援が必要な高齢者がサービスを利用できるように基準の明確化を図る。		
個表 番号 70	課名	地域支援課	
	前年度 事業実績	<p>【市営バスの利用促進と移動手段に関するヒアリング調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市営バス割引(半額)を65才以上の免許返納者と75才以上の方、障害者を対象に実施した。（半額券発行者数：163人）</li> <li>・65才及び75才の方へ「市営バスお試しセット」を配布し、元気なうちから公共交通へ乗ってもらうきっかけづくりを行った。（配布者数：895人）</li> <li>・高齢者いきいきクラブや自主体操グループに参加し、日々の移動手段に関する困り事や公共交通に関する意見や要望のヒアリング調査を実施した。また、市営バス及び予約式乗合タクシーについて周知を行った。（実施回数：13回）</li> </ul>	
		成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65才以上の高齢者への割引制度により、利用者の経済的負担軽減につながっている。</li> <li>・お試しセットによって市営バスに乗ったことがない方の利用があり、市営バスの利便性の周知や、車などに乗れなくなっても困らない生活形成のきっかけづくりにつなげることができた。</li> <li>・市営バスはタクシーと比較して安価に利用できることから、外出頻度の向上につながっている。</li> <li>・乗合タクシーの乗降場所1カ所の老朽化していた待合ベンチを入れ替えし、待合環境を改善することができた。</li> </ul>
		課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営バス等の公共交通のダイヤや乗り方、市の様々な移動支援サービスについて知らない方が多いため、広報誌や地区別説明会など、様々な機会を捉えた更なる情報発信と利用促進に取り組む必要がある。</li> <li>・待合環境等について高齢者がより利用しやすい環境整備に努めていく必要がある。</li> </ul>
		達成度	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組み中 C:未実施
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度 計画内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度に引き続き、市営バス及び予約式乗合タクシーの更なる周知と利用促進に引き続き取り組む。</li> <li>・香南市地域公共交通計画に沿って高齢者が利用しやすい公共交通の環境づくりに取り組む。</li> </ul>		

# ○障害のある人

<b>基本目標</b>		1 障害についての理解と配慮及び障害のある人の自立支援や虐待防止などの取組を進め、障害のある人とその家族が安心して生活し、生きがいを感じられる地域づくりをめざす		
<b>推進方策</b>		1 障害のある人に関する理解を深めるための教育・普及啓発活動の推進		
<b>具体的取組内容①</b>		学校等において、障害のある人の人権問題に関わる人権教育・啓発を推進します。		
個表 番号 71	<b>課名</b>	こども課		
	<b>前年度事業実績</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援保育教育研修に延べ2回、78名、ティーチャーストレージング・保育者コンサルテーションに延べ45回、264名が参加した。</li> <li>各保育所・幼稚園・こども園では人権が尊重される保育を目指し、園内において情報共有を行い、対象児への理解を深めた。</li> <li>専門機関や関係課との連携を行った。</li> </ul>	
		<b>成果</b>	研修の機会は減ったものの、特別支援保育・教育に関する知識や家庭支援に関する研修を重ね理解と技能を高めることができた。	
		<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援担当者研修などへの参加がしやすい体制を整える必要がある。</li> <li>幼児一人一人の理解に基づいた支援など、障害に対する専門的な知識を習得する必要がある。</li> </ul>	
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援担当者研修などにより障害に対する知識を深め、個々に応じた適切な支援を行う。</li> <li>保育所、幼稚園、こども園において一人一人が大切にされる保育・教育を進める。</li> </ul>			
個表 番号 72	<b>課名</b>	学校教育課		
	<b>前年度事業実績</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>人権教育全体計画及び人権教育年間指導計画に基づき、学校教育活動全体を通じて、障害のある人に関する理解、社会的支援や介護・福祉の問題等の課題に関する理解を深める教育の推進。</li> <li>障害のある子どもの自立と社会参加をめざした取組を含め、「共生社会」の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築、交流及び共同学習の機会を積極的に設け、心れあい機会を通じて、障害や障害のある人に関する理解を深め、人を尊重する態度、尊敬や思いやる気持ちなど、豊かな人間性を育むための教育の推進。</li> <li>特別な支援を必要とする児童生徒の自立と社会参加に向けて、教育的ニーズに応じた適切な指導及び支援の充実。</li> </ul>	
		<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の担当者会、各中学校区や各学校において、特別支援教育の理解を促進するための研修を実施し、児童生徒理解や基礎的環境整備、合理的配慮の実践につなげた。(100%実施)</li> <li>小中学校において、全体計画や年間計画に基づき、計画的な教育実践を通して児童生徒に障害者への理解を深めることができた。</li> <li>障害のある人に関する理解を深める教育の実績としては、人権参観日において手話、パラスポーツのポッチャ体験、障害のある方々が生活の中でどのような工夫や配慮が必要かを考え実施を行った。</li> </ul>	
		<b>課題</b>	令和8年1月実施「人権教育・生徒指導に関する取組状況調査」において、障害者の人権についての校内研修、授業研究の実施率は小学校85.7%(昨年度±0p)、中学校25%(昨年度比-25p)であった。これは、市や各学校における特別支援教育の研修(成果)は実施できたものの、各学校が自発的に行う「障害者の人権」に特化した専門的な校内研修や、指導法を深める「授業研究」の実施、特に、中学校における全校的な推進体制の確保に課題が残っているためである。	
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインの視点による授業づくりや学級経営、合理的配慮の提供の推進</li> <li>関係機関と保護者との連携を図った校内支援会の充実と「個別の教育支援計画」の活用の充実</li> <li>校内委員会(校内支援会)の機能強化及び研修の充実</li> </ul>			

<b>具体的 取組内容②</b>		「障害者基本計画」と連携し、積極的に障害のある人の人権に関する地域全体の理解促進や合理的配慮の啓発活動に取り組みます。		
<b>個表 番号 73</b>	<b>課名</b>	福祉事務所		
	<b>前年度 事業実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援協議会において障害者の理解や普及啓発、地域資源の課題について関係課・地域の事業者と協議した。</li> <li>・手話奉仕員養成講座（基礎課程）を開催し、29名が受講し新たに8名が奉仕員に登録した。</li> <li>・手話言語条則の掲載や啓発チラシを作成しイベント等で配布、人権フェスティバルで手話体験ブースを設置した。</li> </ul>		
		<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者自立支援協議会全体会において、情報・課題の共有方法についてより多くの関係機関と協議できる場にするため、体制の見直しを行っていく方針を決定した。</li> <li>・手話言語条則の制定や手話奉仕員養成講座を通して、障害者への理解や地域で共に生活する共生社会の普及啓発につなげることができた。</li> </ul>	
		<b>課題</b>	障害者が社会で直面している課題や解決策について理解を深めるため、より一層、理解促進や合理的配慮について啓発活動を推進し、自立支援協議会を活用できるよう体制を見直していく。	
		<b>達成度</b>	<input type="radio"/> A:概ね達成できた <input type="radio"/> B:達成には至らないが取組中 <input type="radio"/> C:未実施	
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止			
<b>本年度 計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援協議会等で関係機関等と情報共有しながら、障害者差別や生活のしづらさの解消および共生社会の実現を目指した取組を推進する。</li> <li>・令和8年度は「障害者基本計画」の見直しの年であるため、障害者自立支援協議会で計画策定について丁寧に協議をおこなっていく。</li> <li>・手話言語条則制定（令和6年4月1日施行）に伴い、市職員や市民、市内事業者等に対して理解促進および普及啓発に継続して取り組んでいく。</li> </ul>			
<b>個表 番号 74</b>	<b>課名</b>	人権課		
	<b>前年度 事業実績</b>	○香南市人権啓発フェスティバル <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひよこ手話サークルによる手話体験を実施した。</li> <li>・人権啓発漫画パネルの展示</li> </ul>		
		<b>成果</b>	多くのの方々に来場していただき、特に若年層を例年より多く巻き込むことができ、障害のある人や障害についての理解促進を図ることができた。	
		<b>課題</b>	共生社会づくりに向けて、障害者に関する理解を深める取組を更に進める必要がある。	
		<b>達成度</b>	<input type="radio"/> A:概ね達成できた <input type="radio"/> B:達成には至らないが取組中 <input type="radio"/> C:未実施	
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止			
<b>本年度 計画内容</b>	○香南市人権啓発フェスティバル <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時（予定）：11月21日（土）</li> <li>・人権啓発漫画パネル展示</li> <li>・ひよこ手話サークルによる手話体験</li> </ul>			
<b>個表 番号 75</b>	<b>課名</b>	生涯学習課		
	<b>前年度 事業実績</b>	香南市人権教育研究協議会集約大会にて障害のある人に関する理解を深めるための人権講演を実施した。		
		<b>成果</b>	障害のある人に関する理解を深めることができた。	
		<b>課題</b>	引き続き多くの方に参加いただけるように講演内容等検討する必要がある。	
		<b>達成度</b>	<input type="radio"/> A:概ね達成できた <input type="radio"/> B:達成には至らないが取組中 <input type="radio"/> C:未実施	
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止			
<b>本年度 計画内容</b>	市人教の広報紙「かがやき」や「人権啓発フェスティバル」、人権講演等で啓発活動の充実を図る。			

<b>推進方策</b>		2 障害のある人の地域生活支援と虐待防止対策		
<b>具体的取組内容①</b>		障害のある人への虐待を防止するために、民生委員・児童委員などとの連携体制を強化し、相談支援体制の充実を図ります。		
個表 番号 76	<b>課名</b>	福祉事務所		
	<b>前年度事業実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談体制として、障害者相談員の配置や「地域活動支援センターあけぼの」に相談支援事業を委託し、障害のある方やその保護者等からの相談に応じるとともに、必要な情報提供等を行った。</li> <li>・香南市高齢者及び障害者虐待防止ネットワーク委員会において実態把握及び今後の取組について協議を行った。</li> </ul>		
		<b>成果</b>	香南市高齢者及び障害者虐待防止ネットワーク委員会において実態把握及び今後の取組について協議を行うことで、関係機関との連携強化を図ることができた。	
		<b>課題</b>	基幹相談支援センターの設置に伴い、虐待防止に向けた取り組みとして市内の障害サービス事業所へ研修等を行い、障害者虐待についての理解を深める必要がある。	
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施		
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
<b>本年度計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して相談支援事業を実施し、障害のある方やその保護者等からの相談に応じるとともに、必要な情報提供等を行う。</li> <li>・必要に応じて指定特定相談事業所・介護支援事業所等との合同連絡会を開催する。</li> <li>・香南市高齢者及び障害者虐待防止ネットワーク委員会において実態把握及び今後の取組について協議する。</li> </ul>			

<b>具体的取組内容②</b>		「障害福祉計画・障害児福祉計画」と連携し、障害者施策の充実と、サービスの情報発信の強化を図ります。		
個表 番号 77	<b>課名</b>	福祉事務所		
	<b>前年度事業実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、障害者自立支援協議会を実施し、第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画（R6～R8）の推進を図りながら、障害者施策の充実について協議した。</li> <li>・地域生活支援事業については福祉施設や他市へニーズ調査等を行い、対象者の拡充について協議した。</li> <li>・引き続き、障害者自立支援協議会において、第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画（R6～R8）の推進とともに令和8年度の計画見直しに向けた準備期間として、当事者と事業所アンケート調査を行い。</li> <li>・継続して地域生活支援事業や障害者自立支援給付事業を実施するとともに、障害福祉サービス情報誌福来楽に掲載し、制度の周知を行った。</li> </ul>		
		<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者自立支援協議会の全体会を2回開催し、全体会と専門部会の連携を強化するための機関として「連絡会」を活性化していくことを決定、試行した。</li> <li>・計画の第1回策定委員会を開催し、次期計画策定スケジュールの共有、意見交換を行った。</li> </ul>	
		<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年度は「障害福祉計画・障害児福祉計画」の見直しの年であるため令和7年度のアンケート調査等を元に、計画策定を行っていく。障害者自立支援協議会でも計画の進捗管理のみならず、障害がある人のニーズや周りの環境について情報共有していく。</li> <li>・障害者の生活環境の整備や充実を図るための制度について、時期や手法に課題があり、必要な対象者に届いていない現状がある</li> </ul>	
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施		
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
<b>本年度計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、障害者自立支援協議会において、「連絡会」の機能を活性化させ全体会と専門部会の連携を強化し、情報共有や地域の課題共有を行う。</li> <li>・令和8年度の計画策定に向けて、関係者のニーズを意識した障害者施策の充実をめざし、内容を精査し丁寧に協議していく。</li> <li>・継続して地域生活支援事業や障害者自立支援給付事業を実施するとともに、対象者や関係機関の特性に応じた効果的な周知方法を検討する。</li> <li>・相談窓口をまとめた冊子を作成し、民生委員児童委員など関係機関へ配布する。</li> </ul>			

推進方策		3 地域での交流の場づくりと雇用・就労の促進		
具体的 取組内容①		スポーツ、文化、地域活動、ボランティア活動などを通して、障害のある人との交流機会を創出します。		
個表 番号 78	課名	生涯学習課		
	前年度 事業実績	ハンザクラス（ヨット）やユニバーサルビーチ体験会などを実施した。		
		成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハンザクラスヨットは、障がい者と健常者がともにスポーツに親しむ機会を得るフィールドであり、体験事業として障がい者と障がい児への体験を6回行った。</li> <li>ユニバーサルビーチ体験会としてではないが、マリンスポーツ体験時に、身体に障がいのある人がビーチまで入れるようビーチ用車いすを活用し、ユニバーサルビーチとしての理解を深めてもらうことができた。</li> <li>特別支援学校へ出張体験により、マリンスポーツを親しんでもらった。</li> </ul>	
		課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者がスポーツに親しむ機会を創出する。</li> <li>各関係機関・団体との連携を図る。</li> <li>障害者理解をさらに深めるための研修会や交流会（スポーツ交流会・体験交流）を計画的に実施する。</li> </ul>	
		達成度	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度 計画内容	体験会等を実施し交流と理解を深める活動を継続して行う。			
個表 番号 79	課名	福祉事務所		
	前年度 事業実績	前年度に引き続き地域活動支援センターあけぼのを拠点とした活動（絵たより教室、手芸、クッキングなどの文化活動やスポーツ、余暇活動、グループ活動）を実施した。		
		成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動支援センターあけぼのので日中活動の支援をすることができた。</li> <li>地域活動支援センター事業 日中活動 参加者（見込み）3800人</li> <li>地域活動支援センターあけぼのと連携し、スポーツ大会への参加を支援した。</li> </ul>	
		課題	日中活動等の支援はできているが、今後も継続的な支援を行うため、利用者や事業者等のニーズ把握を行い、支援体制整備に努める。	
		達成度	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度 計画内容	地域活動支援センターあけぼのと連携しながら、障害のある人との交流機会を確保するため、日中活動の支援を行う。			
個表 番号 80	課名	商工観光課		
	前年度 事業実績	2月17日に知的障害のある方向けに自転車シミュレーターを活用した自転車講習会を開催した。		
		成果	8名が参加し、アンケートからも約85%の方が講習内容を「よく理解できた」と回答した。	
		課題	自転車シミュレーターが1台しかなく1人あたり5分～10分ほど必要な為、定員が少人数になってしまう。	
		達成度	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度 計画内容	関係機関と連携して広報・周知の強化を図るとともに、講習を2部に分けるなどしてイベント参加可能者数の増加、自転車シミュレーターの試走時間を増加できるように取り組む。			

<b>具体的 取組内容②</b>		「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、障害のある人の雇用促進及び就労支援を推進します。		
<b>個表 番号 81</b>	<b>課名</b>	総務課		
	<b>前年度 事業実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正規職員の募集に障害者枠を設けて採用試験を実施 令和7年度採用者…なし</li> <li>・会計年度任用職員の新規任用 令和7年度新規任用者…2名</li> <li>・令和7年6月1日時点の障害者雇用率 市における雇用率は2.16%で、法定雇用率(2.8%)を下回っている(5名不足)</li> </ul>		
		<b>成果</b>	法定雇用率の達成には至っておらず、新規任用の会計年度任用職員の採用はあるものの、分母職員の増加もあり、雇用率は若干低下している。	
		<b>課題</b>	令和8年7月から雇用率が3.0%(令和8年6月30日までは2.8%の経過措置あり)に引きあがる。	
		<b>達成度</b>	A:概ね達成できた    ⑧:達成には至らないが取組中    C:未実施	
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度 計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者雇用を推進するため、引き続き、障害者枠を設定して募集する。</li> <li>・会計年度任用職員の任用については、お試し勤務などハローワークと連携して就労支援を行う。</li> </ul>			
<b>個表 番号 82</b>	<b>課名</b>	福祉事務所		
	<b>前年度 事業実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者自立支援協議会(就労支援部会)(年2回開催)で障害者の就労支援を実施し、障害者の就労に関する課題について協議を行い、香美市の新たな取り組みである「ジョブマッチング」について情報共有を行った。</li> <li>・障害をお持ちの方の一般就労について相談支援業務を行った。</li> </ul>		
		<b>成果</b>	障害者の就労に関する市の課題と事業所の課題の共有を行うことができた。	
		<b>課題</b>	障害者手帳や診断を持たない狭間の方への就労支援について体制を整える必要がある。	
		<b>達成度</b>	④:概ね達成できた    B:達成には至らないが取組中    C:未実施	
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度 計画内容</b>	障害者自立支援協議会(就労支援部会)において情報共有や課題に対する協議を継続、香美市で先行し始まった「ジョブマッチング制度」の活用についても検討していく。農福連携の体制づくりや就労体験拠点や訓練事業所の活用など雇用促進に取り組む。			
<b>個表 番号 83</b>	<b>課名</b>	人権課		
	<b>前年度 事業実績</b>	○求人情報の提供 就職に向けて、ハローワーク香美から提供される求人情報を印刷し、本庁2階情報コーナーや各市民館カウンターに設置して、地域住民への情報提供に取り組んだ。		
		<b>成果</b>	ハローワーク香美の求人情報を定期的に提供し、本庁や市民館の情報コーナーで住民が手軽にアクセスできる体制を整備し、就職活動に必要な情報の周知を図ることができた。	
		<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的な情報発信による、効果が目に見えない。</li> <li>・障害者雇用への理解を進めるための広報だけでなく、香南市企業等人権問題連絡協議会と連携しての研修等も必要がある。</li> </ul>	
		<b>達成度</b>	A:概ね達成できた    ⑧:達成には至らないが取組中    C:未実施	
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度 計画内容</b>	引き続き、求人情報を発信していくとともに、香南市企業等人権問題連絡協議会と連携した研修等の開催について検討する。			

<b>具体的 取組内容③</b>		障害のある人の自立支援を促進するために、障害者支援施設などへの支援の充実を図ります。	
個表 番号 84	<b>課名</b>	福祉事務所	
	<b>前年度 事業実績</b>	障害者自立支援協議会（就労支援部会）にて、就労移行支援等の就労系サービスの香南市における課題について協議した。	
		<b>成果</b>	障害関係施設等にて、障害者の就労支援、就労継続支援が図られた。
		<b>課題</b>	事業所の抱える職員の人材不足等の事業継続の課題について支援をする必要がある。
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度 計画内容</b>	障害者自立支援協議会において、各部会の課題を全体会で図れる体制として連絡会を開催し、障害関係施設等および教育機関とも連携して障害者の自立に向けた支援に継続して取り組んでいく。また、利用者の高齢化や障害の多様化などに対応する事業所の抱える環境整備や職員の人材不足の問題を支援していく。		

<b>推進方策</b>	4 障害の有無にかかわらず安心して暮らせる環境の整備
-------------	----------------------------

<b>具体的 取組内容①</b>	市の事業を実施する際には、ユニバーサルデザインやバリアフリー化を進め、誰もが暮らしやすい生活環境を整備します。
----------------------	---

個表 番号 85	<b>課名</b>	生涯学習課	
	<b>前年度 事業実績</b>	社会教育・体育施設の維持管理に努めるとともに、ユニバーサルスポーツに関する資格の取得を促した。	
		<b>成果</b>	スポーツ推進委員と一緒に障害者への理解、意識向上へつなげるとともに、ユニバーサルスポーツの普及活動に努めることができた。
		<b>課題</b>	施設整備に向けては、計画的に整備をすすめる必要がある。
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度 計画内容</b>	各種研修に参加しスポーツ推進委員と一緒に障害者への理解、意識向上へつなげるとともに、ユニバーサルスポーツの普及活動に努める。また、社会教育・体育施設の維持管理に努めながら、バリアフリー化などの施設整備を計画的にすすめていく。		

個表 番号 86	<b>課名</b>	地域支援課、香我美支所、夜須支所	
	<b>前年度 事業実績</b>	【地域管理の集会所等のバリアフリー化】 ○地域支援課 ・地域の集会所等の改修を補助対象とする事業を実施し、バリアフリー化に関する申請は0件であった。 ・令和7年度補助金交付実績3件中バリアフリー化0件 ○香我美支所 ・地域の集会所等の改修を補助対象とする事業を実施し、バリアフリー化に関する申請は0件であった。 ・令和7年度補助金交付実績1件中バリアフリー化0件 ○夜須支所 ・地域の集会所等の改修を補助対象とする事業を実施し、バリアフリー化に関する申請は0件であった。 ・令和7年度は補助金交付実績2件中バリアフリー化0件 ※令和7年度補助金交付実績6件中バリアフリー化0件	
		<b>成果</b>	地域の代表者等に対して窓口及び補助金ハンドブック等での周知を行った結果、バリアフリー化に関する改修は実施されなかった。
		<b>課題</b>	地域の方から必要・活用される施設となるよう、補助制度について住民への効果的な周知方法を検討する必要がある。
		<b>達成度</b>	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度 計画内容</b>	地域の集会所等の状況を聴き取り、改修を対象とした補助事業を継続して実施するとともに、地域での回覧等やまちづくり協議会を通して事業周知を図る。		

個表 番号 87	課名	住宅政策課		
	前年度 事業実績	障害者が利用しやすい住環境整備のため、必要に応じて市営住宅の改修（手すりの設置等）などを行った。		
		成果	令和7年度に、介護保険等のサービスを利用して住宅改修（手すりの設置等）を行う際には、模様替え等の申請に対し承認をした。	
		課題	居住者の事情による個別対応のため、申し出があるまで改修の必要性の把握が困難である。	
		達成度	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	市営住宅改修時には安全性・利便性の確保を図り、障害者に配慮した環境づくりに継続して取り組む。			
個表 番号 88	課名	契約管財課		
	前年度 事業実績	本庁舎の施設及び庁舎敷地整備工事は、ユニバーサルデザインを基本に「高知県ひとにやさしいまちづくり条例」に基づいて実施することとしており、令和7年度は本庁舎北側の敷地整備（敷地内緑化）工事に係る設計を行った。		
		成果	本庁舎敷地の未整備（敷地内緑化）部分について設計が完了した。	
		課題	R8年度に予定している本庁舎敷地整備（敷地内緑化）工事を実施する際には、敷地に隣接する歩道に留意し、通行人や施設利用者の安全と利便性を確保する必要がある。本庁舎については、利用者にとって常に使いやすい施設となるよう、社会情勢等に応じて今後もサインや設備等について検討・整備を続ける必要がある。	
		達成度	A:概ね達成できた ②:達成には至らないが取組中 C:未実施	
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	施設利用者にとって使いやすい施設となるよう、環境整備に努める。			

具体的 取組内容②		自主防災組織などと協働して、誰もが安全・安心に暮らすための防災・防犯対策を推進します。		
個表 番号 89	課名	防災対策課		
	前年度 事業実績	南海トラフ地震の際、避難行動要支援者を対象とした個別避難計画に基づく避難訓練を地域の自主防災組織と協働して行った。また、聴覚障害者がJアラートを認識できる装置の案内を福祉事務所と連携して行った。		
		成果	香南市総合防災訓練の際に避難行動要支援者の避難訓練を行った。	
		課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難行動要支援者の避難訓練への参加は、雨の影響もあり参加者が少なかったため、次年度以降は天候に左右されずに参加できるよう自主防災組織や関係機関と連携を深め、有事に備える必要がある。</li> <li>聴覚障害者への取り組みとして、令和6年度に希望者に対してJアラート受信機を設置した（3機）が、回答のない世帯にどうアプローチしていくかが課題である。</li> </ul>	
		達成度	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	避難訓練等へ障害者の参加を促すとともに聴覚障害者への取組を継続して実施する。			

## ○感染症患者等

基本目標		1 感染症等を理解する取組を進め、感染者とその家族が安心して生活し、生きがいを感じられる相談・支援体制を整えるとともに、感染予防を図る	
推進方策		1 正しい知識の普及啓発と感染予防	
具体的取組内容①		あらゆる感染症や今後起きてくるさまざまな病気に対する正しい知識を普及させるために、市民への啓発活動の充実を図ります。また、正確な情報の収集・分析及び提供に努めます。	
個表番号 90	課名	人権課	
	前年度事業実績	感染症に関する相談はなかったが、相談窓口および支援機関の周知を行った。	
		成果	相談窓口および支援機関の周知を行ったことで、相談先へのアクセスがスムーズに行える体制を整えることができた。
		課題	市民への直接的な啓発活動については実施できておらず、具体的な取組みの展開が必要である。
		達成度	A:概ね達成できた ⑧:達成には至らないが取組中 C:未実施
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止	
本年度計画内容	ハンセン病などの感染症に対する理解が深まるよう、イベント等にて啓発パネルや啓発冊子等を活用した啓発に取り組む。		
個表番号 91	課名	健康対策課	
	前年度事業実績	各庁舎、施設でのポスター掲示やホームページ、広報誌での周知を行った。	
		成果	感染症についての啓発を多様な方法で周知した。
		課題	感染症に関する予防対策の効果的な周知方法と蔓延状況に応じた啓発を今後も継続していく。
		達成度	④:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止	
本年度計画内容	国や県の方針に沿った感染症に対する理解が進むよう周知、啓発を実施する。		
個表番号 92	課名	生涯学習課	
	前年度事業実績	「人権啓発フェスティバル」において、感染症等に関する正しい理解を促進する人権図書の周知・展示を行った。	
		成果	市人教会員及び市民の方への周知を図ることができた。
		課題	より多くの方に啓発活動が必要である。
		達成度	④:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止	
本年度計画内容	市人教の広報紙「かがやき」や「人権啓発フェスティバル」、人権講演等で啓発活動の充実を図る。		

<b>具体的 取組内容②</b>		学校教育において、エイズ教育の推進と病気に対する正しい知識の普及を進めるために、性教育のための冊子やリーフレットを用いて啓発を推進します。 また、その他の感染症においても感染予防のための広報活動を推進します。	
個表 番号 93	<b>課名</b>	学校教育課	
	<b>前年度 事業実績</b>	小中学校では体育・保健体育科の学習において、性教育や感染症等について学級担任と養護教諭による系統的な学習と取組を行った。	
		<b>成果</b>	感染症への感染対策とともに、HIV検査普及週間や感染症に係る各種リーフレットを配布し、各校に周知をすることができた。
		<b>課題</b>	リーフレット等の周知をしているが、活用状況については把握できていない。
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度 計画内容</b>	・教職員自ら、正しい知識を学ぶとともに、児童生徒が正しい知識を学ぶ場の設定するように周知する。 ・教科書教材に加え、リーフレット等についても活用できるように周知する。		
個表 番号 94	<b>課名</b>	健康対策課	
	<b>前年度 事業実績</b>	・感染症予防対策や相談窓口について周知や啓発を実施。 ・各庁舎・各施設でのポスター掲示や啓発ちらしの設置。 ・香南ケーブルテレビ・ホームページ・広報誌での周知を行った。	
		<b>成果</b>	継続して周知、啓発を実施した。
		<b>課題</b>	限られたカリキュラムの中で市内の中学校と連携し、性教育を含む思春期保健事業を継続していく。
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度 計画内容</b>	国や県の方針及び対応に沿った感染症予防対策や相談窓口について周知や啓発を実施する。		
<b>推進方策</b>	2 感染症などに関わりのある人の暮らしやすい体制づくり		
<b>具体的 取組内容①</b>	感染症患者等の人権について、患者やその家族だけでなく、医療・福祉などの従事者も含めた相談窓口の周知に努め、関係機関と連携し相談者の立場に立った相談・支援に取り組みます。		
個表 番号 95	<b>課名</b>	人権課	
	<b>前年度 事業実績</b>	感染症に関する相談はなかったが、相談窓口および支援機関の周知を行った。	
		<b>成果</b>	相談窓口および支援機関の周知を行ったことで、相談先へのアクセスがスムーズに行える体制を整えることができた。
		<b>課題</b>	市民への直接的な啓発活動については実施できておらず、具体的な取組みの展開が必要である。
		<b>達成度</b>	A:概ね達成できた ②:達成には至らないが取組中 C:未実施
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度 計画内容</b>	・広報誌やホームページ等の媒体を活用した情報発信について、段階的な実施を検討する。		
個表 番号 96	<b>課名</b>	健康対策課	
	<b>前年度 事業実績</b>	感染症に対する正しい知識の普及・周知に努めるとともに、感染症に関する相談支援を行う。	
		<b>成果</b>	新しい感染症についての啓発を多様な方法で周知、啓発した。
		<b>課題</b>	感染症に関する予防対策の効果的な周知方法と蔓延状況に応じた啓発を実施する。
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度 計画内容</b>	国や県の方針及び対応に沿った感染症予防対策や相談窓口について周知や啓発を実施する。		

## ○外国人

### 基本目標

1 多文化共生社会（国籍、民族の違いを問わず、外国人が地域社会に参画できるまちづくり）の実現をめざす

<b>推進方策</b>		1 国際理解を深める教育・啓発の推進		
<b>具体的取組内容①</b>		多文化共生社会を促進するために、外国の文化を知り、学ぶための教室やイベントを開催し、国際交流活動を推進します。		
個表 番号 97	<b>課名</b>	生涯学習課		
	<b>前年度事業実績</b>	本年度も外国籍を有する方の居場所づくり事業「こうなんにほんごサロン」を開設した。高齢者学級で「誰もが幸せに暮らすために」～女性の人権・外国人の人権～と題して学習会を行った。多文化共生社会について理解を深めることができた。		
		<b>成果</b>	毎月第2金曜日の夜間にサロンの開設とイベントサロン及びおでかけサロンを実施し交流を深めることができた。	
		<b>課題</b>	開催場所や時間帯に問題があるのかサロンへの参加者が固定されている。	
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施		
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
<b>本年度計画内容</b>	「こうなんにほんごサロン」の存在や目的を知ってもらう広報活動を工夫し、参加者の増加および国際交流活動を推進する。公民館活動と連携し、新規の参加者の掘り起こしに取り組んでいく。			

<b>具体的取組内容②</b>		学校教育で国際理解を深める教育と啓発を推進するために、外国語指導助手を小中学校へ配置し、国際理解の推進に努めます。		
個表 番号 98	<b>課名</b>	学校教育課		
	<b>前年度事業実績</b>	各小中学校へ週に2～5日、外国語指導助手を配置し、勉強や遊びを通じて、文化理解や国際理解を深めた。		
		<b>成果</b>	教職員は、外国語指導助手と協力して授業づくりに取り組むことが出来た。また、子どもたちは、授業の時間だけでなく、掃除や給食の時間などにも、積極的に交流することが出来た。	
		<b>課題</b>	主に小学校の担当教職員と、外国語指導助手とのコミュニケーション（意思の疎通）が難しい。	
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施		
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
<b>本年度計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各小中学校に週2～5日で、7名の外国語指導助手を配置する。</li> <li>・継続的な配置により、授業内外を問わず子どもたちが能動的かつ積極的に交流できる場を増やし、国際理解の更なる推進に努める。</li> </ul>			

<b>推進方策</b>		2 外国人が暮らしやすい環境づくり		
<b>具体的取組内容①</b>		主な公共施設に多言語表記を行うなど、外国人が住みやすいまちづくりの推進に努めます。		
個表 番号 99	<b>課名</b>	人権課		
	<b>前年度事業実績</b>	○香南市企業等人権問題連絡協議会 自主研修会 日時：令和7年10月23日（木） 演題：外国人雇用と人権について 講師：上田 修三 氏（大阪企業人権協議会） 受講者数：25名（会員企業：14名 市職員：11名）		
		<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企人協として「外国人と人権」は初のテーマであったため、これまでとは異なる会員企業の参加も見られ、参加企業の幅が広がり、理解促進につながった。</li> <li>・ 実務上の対応事例や法的留意点を学ぶことで、企業が適切な雇用管理を行う意識が向上した。</li> </ul>	
		<b>課題</b>	加盟企業の参加は増えたものの、依然として参加者は少なく、研修会への関心や参加意欲を高めるための広報活動や魅力的なプログラムの強化が必要である。	
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施		
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
<b>本年度計画内容</b>	外国人の来庁に備え、公共施設での対応体制を整備し、スムーズな対応ができるよう体制を整える。			

具体的 取組内容②		「ハイトスピーチ解消法」の施行に伴い、ハイトスピーチ解消に向けた啓発活動を推進します。		
個表 番号 100	課名	人権課		
	前年度 事業実績		「ハイトスピーチ解消法」の法律の周知は行っているが、外国人からのハイトスピーチなど偏見や差別に関する相談などはなかった。	
		成果	ホームページにて、ハイトスピーチ解消法に関する基礎的な情報提供を市民へ周知できた。	
		課題	市民への直接的な啓発活動については実施できておらず、具体的な取組みの展開が必要である。	
	達成度	A:概ね達成できた    ⑧:達成には至らないが取組中    C:未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続    ・ <input type="checkbox"/> 統合    ・ <input type="checkbox"/> 拡充    ・ <input type="checkbox"/> 縮小    ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	・ハイトスピーチ解消に向けたポスターやチラシなどを活用した情報発信を行っていく。			

# ○インターネット

<b>基本目標</b>		1 市民一人ひとりが、インターネットを利用するときも直接人と接するときと同じようにルールやモラルを守り、相手の人権を尊重できるまちをめざす		
<b>推進方策</b>		1 利用モラルの向上		
<b>具体的取組内容①</b>		市民のインターネット利用モラル向上のため、市広報誌などを通じた啓発に努めます。		
個表 番号 101	<b>課名</b>	人権課		
	<b>前年度事業実績</b>	○広報誌への掲載 他の人権課題（同和問題やなど）に関連する形でインターネットが新たな差別の場になっていることを掲載した。		
		<b>成果</b>	インターネット利用モラル向上に特化した啓発には至らなかったものの、同和問題等の人権課題と関連付けて情報発信を行うことで、インターネット上の差別的言動に関する意識啓発につなげることができた。	
		<b>課題</b>	啓発内容が限定的であり、体系的な発信が十分ではなかった。	
	<b>達成度</b>	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施		
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
<b>本年度計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のインターネット利用モラル向上を図るため、他の人権課題とも関連付けながら、広報誌等を活用した啓発活動を継続的に実施する。</li> <li>・香南ケーブルテレビに「インターネットと人権」に関する映像の放送を依頼する。</li> </ul>			
<b>具体的取組内容②</b>		情報モラル教育を推進するため、学校、家庭、地域などの関係者が連携して指導に取り組みます。		
個表 番号 102	<b>課名</b>	学校教育課		
	<b>前年度事業実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「情報活用能力（情報モラルを含む）」が言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられるとともに、「学校のICT環境整備」と「ICTを活用した学習活動の充実」が求められているなか、学校の教育活動全体を通して情報モラルを身に付けるための学習活動を位置付けて取り組んでいる。</li> <li>・「SNS上における暴力行為等の動画の投稿・拡散を受けた緊急の対応等について（通知）」（令和8年1月30日付 7文科発第2109号）を受け、再度、情報モラル教育の実施を行った。</li> </ul>		
		<b>成果</b>	※令和8年1月実施「人権教育・生徒指導に関する取組状況調査」より 「インターネットによる人権侵害について」実施率 小学校71.4%・中学校100% ※文科省通知を受け、情報モラル教育を改めて全小中学校で実施。実施率小中学校ともに100%	
		<b>課題</b>	○活用資料の偏り 「情報モラル教育実践ハンドブック」や「人権教育指導資料（Let's feel じんけん）」などの活用状況に学校差があり好事例の共有（どの資料がどの授業で有効だったか）が不十分である。	
	<b>達成度</b>	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施		
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
<b>本年度計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各関係機関の啓発資料を改めて周知、計画的な活用依頼を行い、未然防止につなげる。（令和8年3月3日付け事務連絡で文部科学省初等中等教育局学校デジタル化プロジェクトチームから国より情報モラル教育の動画教材等について、短い時間でも活用でき、わかりやすい啓発動画などの紹介有り）</li> <li>・引き続き学校と家庭が連携した情報モラルの取組などを関係機関と連携しながら推進する。</li> </ul>			

<b>推進方策</b>		2 差別的表現への迅速な対応	
<b>具体的取組内容①</b>		差別的表現に対する迅速な対応のため、相談窓口等の周知や職員のモニタリング研修を行います。	
個表 番号 103	<b>課名</b>	人権課	
	<b>前年度事業実績</b>	○人権相談 ・インターネット上の人権侵害に対応するよう人権課人権係、赤岡市民館、吉川市民館の相談窓口や人権擁護委員による人権相談を実施した。 ・特設人権相談所について、市広報誌のカレンダーに掲載するとともに、防災無線による周知を行った。 ⇒ インターネットに関する人権相談なし  ○○県のインターネットモニタリング事業との連携 ・県へ委託しているため、研修を実施していない。  ○「部落差別をなくする運動」強調旬間事業 講演会 日 時：令和7年7月15日（火） 演 題：私たちは「部落差別」にどう向き合っていくか ～一緒に考えるということ～ 講 師：三木 幸美 氏（公益財団法人とよなか国際交流協会 事業主任） 受講者数：126名（一般：37名、職員：89名）	
		<b>成果</b>	・相談窓口を開設し、相談があれば法務局など関係機関と連携した対応が取れる体制はできている。 ・講演会には市民および市職員合わせて126名が参加し、対応方策やインターネット上の差別に対する今後の課題について学ぶことができた。
		<b>課題</b>	相談窓口については継続的に周知を行っているが、まだ実際に相談に至っていない潜在的なニーズが存在すると考えられるため、これらを掘り起こし、利用促進を図る必要がある。
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止	
<b>本年度計画内容</b>	広報誌や市のSNSなどを活用し、インターネットによる人権侵害に関する啓発を継続・強化するとともに、相談窓口の周知活動をさらに推進する。		

<b>具体的取組内容②</b>		インターネットによる人権侵害を受けた被害者の問題解決や救済に向けて、法務省の人権擁護機関や警察、関係団体等と連携した対応に努めます。	
個表 番号 104	<b>課名</b>	人権課	
	<b>前年度事業実績</b>	相談があった場合に迅速かつ適切に対応できるよう関係団体との連携体制の維持に努めた。	
		<b>成果</b>	インターネット上の人権侵害の相談はなかったが、関係機関との連携体制の維持を図ることができた。
		<b>課題</b>	迅速かつ適切に対応するため、関係機関との連携に加え、事例に基づく対応手順の理解を深める必要がある。
		<b>達成度</b>	A:概ね達成できた ①:達成には至らないが取組中 C:未実施
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止	
<b>本年度計画内容</b>	法務省の人権擁護機関や警察、関係団体との連携体制を維持・確認し、迅速かつ適切な相談対応が可能な状態を継続する。		

## ○災害と人権

<b>基本目標</b>		1 災害発生時に市民の人命と人権を守るための取組を進め、災害時も安心して生活が送れる地域社会をめざす 2 災害時に起こるさまざまな人権問題について正しい知識と理解を深めるために、普段からの教育と啓発を推進する	
<b>推進方策</b>		1 災害発生時に向けた支援体制の整備	
<b>具体的取組内容①</b>		要配慮者や子育て家庭、女性など、さまざまな人々への十分な配慮が求められる課題に対し、性別や年齢などにおいて重視する配慮内容の違いを考慮した対策を検討します。	
個表 番号 105	<b>課名</b>	防災対策課	
	<b>前年度事業実績</b>	香南市地域防災計画において、被災者のニーズに柔軟かつ機敏に対応するとともに高齢者や障害者、その他特に配慮を要する者について、被災者の年齢、性別、障害の有無といった被災者の事情から生じる多様なニーズに適切に対応するための対策について定めている。	
		<b>成果</b>	各種訓練やワークショップ等において、年齢や性別などの多様なグループを構成した中での意見交換や一般市民を対象としたアンケートなどを実施し広く意見を聴取することにより各種計画などに対して、その資料を得ることができた。（総合防災訓練、避難所開設訓練、津波防災地域づくり計画、事前復興まちづくり計画等）
		<b>課題</b>	引き続き多くの意見を反映するとともに、新たな意見を聴取・集約し計画に反映する必要がある。
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度計画内容</b>	各種意見を参考として作成中の計画を進めるとともに既存の計画やマニュアルの修正を検討していく。		
<b>具体的取組内容②</b>		災害時における人権問題に配慮した災害マニュアル等の作成を検討します。	
個表 番号 106	<b>課名</b>	防災対策課	
	<b>前年度事業実績</b>	指定避難所に整備した避難所運営マニュアルは、香南市として統一され人権問題にも配慮した内容となっており、逐次更新し訓練を行っている。また、昨年度は南海トラフ地震臨時情報への対応をマニュアル化するべく、検討を開始した。	
		<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所運営マニュアル作成の27カ所の指定避難所に対し、新たに「コミュニケーション支援ボード」を作成、添付した。</li> <li>南海トラフ地震臨時情報への対応について各課からの意見を反映し香南市地域防災計画に反映させるとともに「南海トラフ地震臨時情報」香南市職員対応マニュアルを作成した。</li> </ul>
		<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たなマニュアル等を訓練などにより市民に浸透させる必要がある。</li> <li>その他の多様なニーズへの対応を継続して検討する必要がある。</li> </ul>
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所運営マニュアル等の各種計画に基づく訓練を実施する中で人権問題に取り組む。</li> <li>本年度行う予定である車中泊避難訓練と合わせて作成する「車中泊避難マニュアル」において人権問題に取り組む。</li> </ul>		
<b>具体的取組内容③</b>		避難所運営において、避難生活の長期化を見据えたプライバシーの確保を図ります。	
個表 番号 107	<b>課名</b>	防災対策課	
	<b>前年度事業実績</b>	避難所生活においてプライバシーと居住環境の向上を図るための、「個室テント250個」と「簡易ベット500個」（7年度分）を購入し計画に基づく備蓄を開始した。	
		<b>成果</b>	個室テントと簡易ベットを整備し、快適な避難所生活実現に向けた取り組みを強化することができた。
		<b>課題</b>	組立要領や使用方法について市民に普及するとともに避難所訓練等の場において適切な運用要領等について検討していく必要がある。
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度計画内容</b>	本年度分の購入と訓練等の場における避難生活の長期化を見据えたプライバシーの確保について継続して検討する。		

<b>具体的取組内容④</b>		避難生活中の市民の健康を維持するために、病気の発生防止や予防対策方法を検討します。	
個表 番号 108	<b>課名</b>	防災対策課	
	<b>前年度事業実績</b>	作成した香南市災害時医療救護計画に基づく訓練を実施するとともに、その実行における問題点等を検討した。	
		<b>成果</b>	医師、看護師、薬剤師、市職員、市民（自主防災組織）など約200人で訓練を実施し、それぞれの立場での応急期の行動や知識について充実が図れた。
		<b>課題</b>	訓練等による新たな課題や計画の修正・普及等、検討課題は多い。
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度計画内容</b>	避難所等における避難者の健康維持に関する検討と医療救護所の訓練を継続していく。		

<b>具体的取組内容⑤</b>		支援を必要としている被災者へ支援物資やボランティアなどの情報が確実に行き届くために、避難所などにおいて情報ネットワークづくりを検討します。	
個表 番号 109	<b>課名</b>	防災対策課	
	<b>前年度事業実績</b>	前年度に引き続き香南市地域防災計画において、防災ボランティアと自治体・住民・NPO等との連携・協働等の深化を図り受援計画を更新した。	
		<b>成果</b>	大規模災害発生時に他の団体からの応援を円滑に受け入れるための地域防災計画の関連計画である受援計画を更新した。
		<b>課題</b>	更に具体的に検討し関係機関との調整を重ね計画を深化させる必要がある。
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度計画内容</b>	受援計画を基本として各機関や自治体の支援、物資やボランティアの活動が災害対応に的確に反映されるシステムや要領を継続して検討する。		

<b>推進方策</b>	2 災害時の人権への配慮に関する教育・啓発の推進		
<b>具体的取組内容①</b>	市民や職員を対象に、災害に関する人権や防災をテーマとした研修会などを実施し、災害時に起こるさまざまな人権問題についての正しい知識と理解を周知します。		
個表 番号 110	<b>課名</b>	防災対策課	
	<b>前年度事業実績</b>	出前講座、防災学習等の場において、災害時に起こるさまざまな人権問題について周知した。	
		<b>成果</b>	主として災害時の人権問題に対する認識が向上ができた。 出前講座・防災学習等（26回：745名）
		<b>課題</b>	参加者が限定されるので更に多数の参加を促す必要がある。
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度計画内容</b>	本年度に計画する同様の研修や出前講座等において、災害時に起こるさまざまな人権問題について周知拡大を図る。		

<b>具体的取組内容②</b>		避難所運営も含め、災害時における人権問題に関する知識の普及と啓発に取り組みます。	
個表 番号 111	<b>課名</b>	防災対策課	
	<b>前年度事業実績</b>	避難所運営訓練や防災訓練等において人権問題等の対策や普及に取組んだ。	
		<b>成果</b>	一例としては地域が行う避難所開設運営訓練において、多様性に配慮した対応について実施者や参加者、相互において積極的に検討を進め、マニュアル等に記載されている内容を理解・実践することができた。 避難所開設運営訓練（4回：190名）、総合防災訓練（1回：3,200名）
		<b>課題</b>	上記、避難所開設運営訓練は、概ね14の地域を主体とした指定避難所での訓練を毎年3～5箇所行っている。訓練を実施した地域での意識は高くなっている。一方、訓練を実施していない地域では意識に差があるのが実態である。令和7年度において特に成果のあった3地域（野市町・赤岡町・香我美町の一部地域）の様に自主的・積極的に取り組む姿勢を醸成したい。
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度計画内容</b>	多様な方からの意見を聞き、地域の積極性を重視して各種計画や訓練に反映しながら取組を進める。		

## ○性的指向・性自認（SOGI）

<b>基本目標</b>		1 性的指向や性自認を理由とするあらゆる差別や偏見をなくし、誰もが自分らしく、安心して暮らせる地域社会の実現をめざす	
<b>推進方策</b>		1 多様な性のあり方への正しい理解の促進	
<b>具体的取組内容①</b>		市民や市職員等に対し、多様な性のあり方に対する理解を深めるための教育・啓発を行います。	
個表 番号 112	<b>課名</b>	人権課	
	<b>前年度事業実績</b>	○性的マイノリティに関する職員研修（主に未受講者および新規採用職員向け） 日時：令和8年2月20日（金） 演題：「性的マイノリティについて考える」 講師：宮田 真 氏（レインボー高知 代表） 受講者数：10名  ○本庁舎にてプロGRESS・プライドフラッグを掲揚した（掲揚期間：6月1日～6月30日）	
		<b>成果</b>	・「窓口に対応にて、どのような話し方や態度が適切なのかが分かりやすかった」、「業務や日常生活での対応を振り返りたい」、「当事者が何に悩んでいて何をしたいのか分かった」という意見が出ており、意識向上が見られた。 ・プライドフラッグを掲揚したことで、職員や地域社会に対して、性的マイノリティへの理解とサポートの重要性を目に見える形でアピールすることができた。
		<b>課題</b>	・研修とプライドフラッグ掲揚のみでは、理解が一過性であり、不十分である。 ・プライドフラッグの意味をどのくらいの人が理解しているのかが不明である。
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度計画内容</b>	・広報誌や市のSNS等を活用して、性の多様性に関する情報を継続的に発信する。 ・LGBTQ+習慣などの定期的なイベントやキャンペーンを通じて、職場内での意識向上を図る。 ・香南ケーブルテレビに「性的マイノリティと人権」に関する映像の放送を依頼する。		

<b>具体的取組内容②</b>		学校教育において、性の多様性に関する理解を進めるための教育・啓発等を行います。また、児童生徒の教育上の配慮として、性は多様なものであるという視点を大切にし、性の多様性を尊重した教育を推進します。	
個表 番号 113	<b>課名</b>	学校教育課	
	<b>前年度事業実績</b>	・校内研修等において教職員間で多様な性について共通理解を図り、誰もが安心して学べる学校づくりに向け考え取組を行った。 ・多様な性も含めて、自他の違いや良さを認め合い尊重し合える関係づくりを行った。（人権教育・特別活動等の充実） ・日常的に多様性について肯定的なメッセージを発信し、環境整備を行った。（関係機関・香南市作成資料の掲示・「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」（H27.4.30文科省通知）に基づく対応の充実） ・教職員間で児童生徒の見守り、情報共有を行った。（関係機関との連携）	
		<b>成果</b>	※令和8年1月実施「人権教育・生徒指導に関する取組状況調査より」 ・行事や特定科目での個別配慮の定着…修学旅行や宿泊学習での部屋・入浴の配慮（小学校57.1%中学校75%）、および水泳授業（ラッシュガードの許可や代替履修）（小学校85.7%・中学校75%）など、心理的負担が大きくなりやすい場面での支援体制が一定数構築されている。 ・児童生徒、保護者、地域の方々とともに理解を深めることができた。（PTA研修・下記校内研修・生徒理解研修・通信等の充実など） ・香南市作成のポスター（にじいろのまち香南市）の掲示や制服の見直しなど、組織としての意識向上や支援がうかがえる。
		<b>課題</b>	・「自分らしさ」を尊重する柔軟な対応について、本人のアイデンティティに関わる部分での支援、環境整備について小中学校ともに高い水準で実施されているが100%実施とはなっておらず、年度や学校によって差がある。 「服装」（小学校85.7%※昨年度比-14.3p・中学校100%※昨年度比±0p） 「髪型」（小学校100%・中学校75%※昨年度比±0p） 「呼称」（小学校71.4%※昨年度比-28.6p・中学校75%※昨年度比±0p） 「更衣室やトイレの利用」（小学校42.9%※昨年度比-4.3p・中学校75%※昨年度比±0p） ・体育又は保健体育において別メニューを設定するなどの支援（小学校42.8%※昨年度比±0p・中学校25%※昨年度比-25%）や自認する性別に係る運動部への参加（小学校28.6%※-14.3p・中学校50%※昨年度比-25%）は、学校単独での判断が難しい内容もあり実施率の改善が難しい。 ・発達段階に応じた環境整備の差…トイレの配慮については、生徒に比べ児童が低い数値となっている。成長に伴う身体的変化や羞恥心の芽生えを考慮し、小学校高学年から中学校へのスムーズな支援の以降（接続）が重要。
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度計画内容</b>	・チェックリストを作成し、「配慮」ではなく、全ての児童生徒が等しく学習権を教授するための「合理的配慮（環境整備）」として取り組む体制を整備し、どの学校に通っても自分らしく過ごせる環境になるように取組を推進する。（年度当初に示し、年度途中に確認する。） ・生徒指導提要（令和4年12月改訂：文科省）における「性的マイノリティ」への対応等の記載など、高知県教育委員会事務局人権教育・児童生徒課作成資料を活用し、再度各学校に周知するとともに、支援と相談体制、相談を受けた際の学校としての対応の充実を図る。		

<b>具体的取組内容③</b>		パートナーシップ宣誓制度の普及促進に向け、市民への周知・広報に加え、制度を活用して利用できる行政サービスの拡充に努めます。		
個表 番号 114	<b>課名</b>	人権課		
	<b>前年度事業実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各課において、制度を活用して利用できる行政サービスについてホームページへ掲載しており、拡充については継続して検討を行っている。</li> <li>高知県が主催した、パートナーシップ制度導入自治体の意見交換会に参加した。</li> </ul>		
		<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制度を活用して利用可能な行政サービスをホームページに掲載したことで、性的マイノリティ当事者への支援情報の可視化を継続することができ、必要な情報にアクセスしやすい環境整備となっている。</li> <li>他の自治体の取組や課題を共有することで、施策検討に活かすための知見を得ることができた。</li> </ul>	
		<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページへの掲載はしたものの、利用者にとってわかりやすく網羅的な情報提供には改善の余地がある。</li> <li>意見交換会で得た知見を十分に反映できていない。</li> </ul>	
		<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施	
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続してホームページへ掲載し、必要に応じて情報を追加する。</li> <li>制度を活用して利用できる行政サービスの拡充については継続して検討する。</li> <li>意見交換会で得た知見を活かせる部分がないか検討する。</li> </ul>			
個表 番号 115	人権課・生涯学習課			
	<b>前年度事業実績</b>	○人権課 香南市人権啓発フェスティバルにおいて、人権啓発漫画パネルを展示した。		
		○生涯学習課 香南市人権啓発フェスティバルにおいて、多様な性のあり方への正しい理解を促進する人権図書の周知・展示を行った。		
		<b>成果</b>	市職員や市人教会員、市民の方への周知を図ることができた。	
		<b>課題</b>	より多くの方に啓発活動が必要である。	
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施		
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
<b>本年度計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>香南市人権啓発フェスティバルにて、継続して人権啓発漫画パネルを展示する。</li> <li>市人教の広報紙「かがやき」や「人権啓発フェスティバル」、人権講演等で啓発活動の充実を図る。</li> </ul>			
<b>推進方策</b>	2 人権侵害に対する相談・支援体制の確保			
<b>具体的取組内容①</b>	人権侵害に苦しんでいる方を適切な相談・支援窓口につなげるため、法務局や県、関係機関と連携を図りながら、適切・迅速に相談・支援ができる体制を整えます。			
個表 番号 116	<b>課名</b>	人権課		
	<b>前年度事業実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>性的指向・性自認に関する人権侵害も含め、人権相談を実施した。</li> <li>特設人権相談所について、市広報誌のカレンダーに掲載するとともに、防災無線による周知を行った。</li> </ul>		
		<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談窓口を開設し、相談があれば法務局など関係機関と連携した対応が取れる体制はできている。</li> <li>性的指向・性自認に関する人権相談なし</li> </ul>	
		<b>課題</b>	相談窓口については継続的に周知を行っているが、まだ実際に相談に至っていない潜在的なニーズが存在すると考えられるため、これらを掘り起こし、利用促進を図る必要がある。	
		<b>達成度</b>	A:概ね達成できた ②:達成には至らないが取組中 C:未実施	
	<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>本年度計画内容</b>	広報誌や市のSNSなどを活用し、性的指向・性自認による人権侵害に関する啓発を継続するとともに、相談窓口を周知する。			

## ○その他の人権問題

<b>基本目標</b>		1 社会情勢の変化に伴う新たな人権問題の解決をめざす
<b>推進方策</b>		1 さまざまな人権問題に関する教育・啓発の推進
<b>具体的 取組内容②</b>		市広報誌や啓発事業などを通して、人権に対する正しい知識や意識を周知啓発するための機会の充実を図ります。
個表 番号 117	<b>課名</b>	人権課
	<b>前年度 事業実績</b>	<p>○アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）について、香南市企業等人権問題連絡協議会と連携して研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会後の研修</li> <li>演題：アンコンシャス・バイアス ～気づきを行動へ～</li> <li>日時：令和7年6月26日（金）</li> <li>講師：中村 智砂 氏（こうち男女共同参画社会づくり財団）</li> <li>受講者：25名（加盟企業：9名 市職員：16名）</li> </ul> <p>○発行物やホームページによる啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報5月号：職場の人権問題に加え、企業等人権問題連絡協議会の紹介および勧誘活動を行った。</li> <li>・研修の様子や人権に関する全国大会、全国集会、イベントの告知・報告について、「企人協通信」を発行した。</li> <li>発行回数：3回</li> </ul>
	<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員企業と市の職員を含め25名が参加し、日常業務や職場環境に潜む偏見に気付くきっかけを提供できた。</li> <li>・市の広報誌へ掲載したことで、協議会の活動内容が周知され、認知向上に繋がったと考えられる。</li> </ul>
	<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の参加者が一部の加盟企業に固定化しており、加盟企業内での広がりが必要である。</li> <li>・広報誌により協議会の認知向上は一定程度図れたものの、新規加盟企業の増加には結びつかなかった。</li> </ul>
	<b>達成度</b>	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取組中 C:未実施
<b>本年度計画</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止	
<b>本年度 計画内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市のホームページに香南市企業等人権問題連絡協議会について掲載し、人権に対する意識向上の機会を図る。</li> <li>・香南市企業等人権問題連絡協議会と連携を継続していく。</li> </ul>	